

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-7

<3週> インフルエンザ - 定点当たり報告数は急速に増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い / その他最新動向
<12月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.8

<インフルエンザ> 定点当たり報告数は2003年に入って急増しており、特に九州、北陸などを中心とした都道府県からの報告が多い



病原体情報
P.9

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス / 感染性胃腸炎



速報

<今週は該当記事はありません>



海外感染症情報
P.10-11

アフガニスタンでの百日咳流行 - 更新 / ドイツで、ルーマニアに関係した旋毛虫症3名の発生 / ギニアでの黄熱流行 / ノロウイルス活動性2002年 - 米国



感染症の話
P.12-18

麻疹
我が国では通常春から夏にかけて流行し、感染性は非常に高い。空気感染の他、様々な感染経路で感染する。



読者のコーナー
P.19



グラフ総覧(3週)
P.20-26



グラフ総覧(12月)
P.27-31



12月のデータ
P.32-35



3週のデータ
P.36-44



発生動向総覧

第3週コメント 1月23日集計分

全数報告の感染症

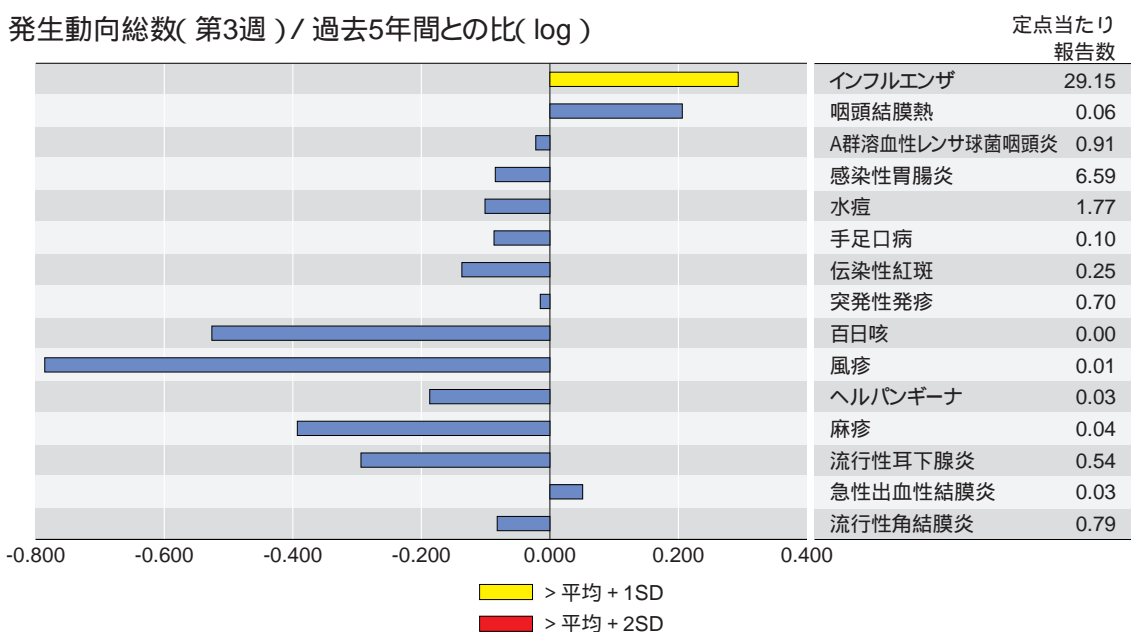
- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：細菌性赤痢6例(推定感染地：国内1例、インドネシア2例、インド、ペルー各1例、不明1例)
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症2例(すべて有症者)
- 4類感染症：アメーバ赤痢7例(推定感染地：国内6例、不明1例)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(創部感染、61歳) ツツガムシ病3例、レジオネラ症2例
 - 急性ウイルス性肝炎6例 A型6例(推定感染地：すべて国内)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)
 - 後天性免疫不全症候群7例(すべて無症候)
 - 感染経路：すべて同性間性的接触
 - 梅毒3例(無症候性1例、早期顕症1例、先天梅毒1例)
 - マラリア2例 三日熱マラリア1例(推定感染地：ブラジル)
 - 熱帯熱マラリア1例(推定感染地：ガーナ)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザの定点当たり報告数は急速に増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い29.15となった。すべての都道府県で定点当たり報告数が7.0を超え、特に沖縄県(82.2)、宮崎県(69.3)、鹿児島県(64.6)からの報告が多い。

他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなっているはいない。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎は前週と比べて大きな変化はないが、依然として前者は富山県(2.6)から、後者は宮城県(14.0)、宮崎県(12.3)、三重県(11.3)からの報告が多い。風疹と麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は、それぞれ0.01と0.04と少ないが、前者では岡山県(0.2)からの報告が約半数と多く、後者では宮崎県(0.6)と福島県(0.3)とで約3割を占めた。急性脳炎(日本脳炎を除く)の定点当たり報告数が0.01とわずかに増加した。水痘の定点当たり報告数は減少したが、都道府県別では沖縄県(3.5)からの報告数が多い。マイコプラズマ肺炎(0.15)の報告数は減少したが、引き続き東北地方(0.35)の定点当たり報告数が他地区に比して多い。

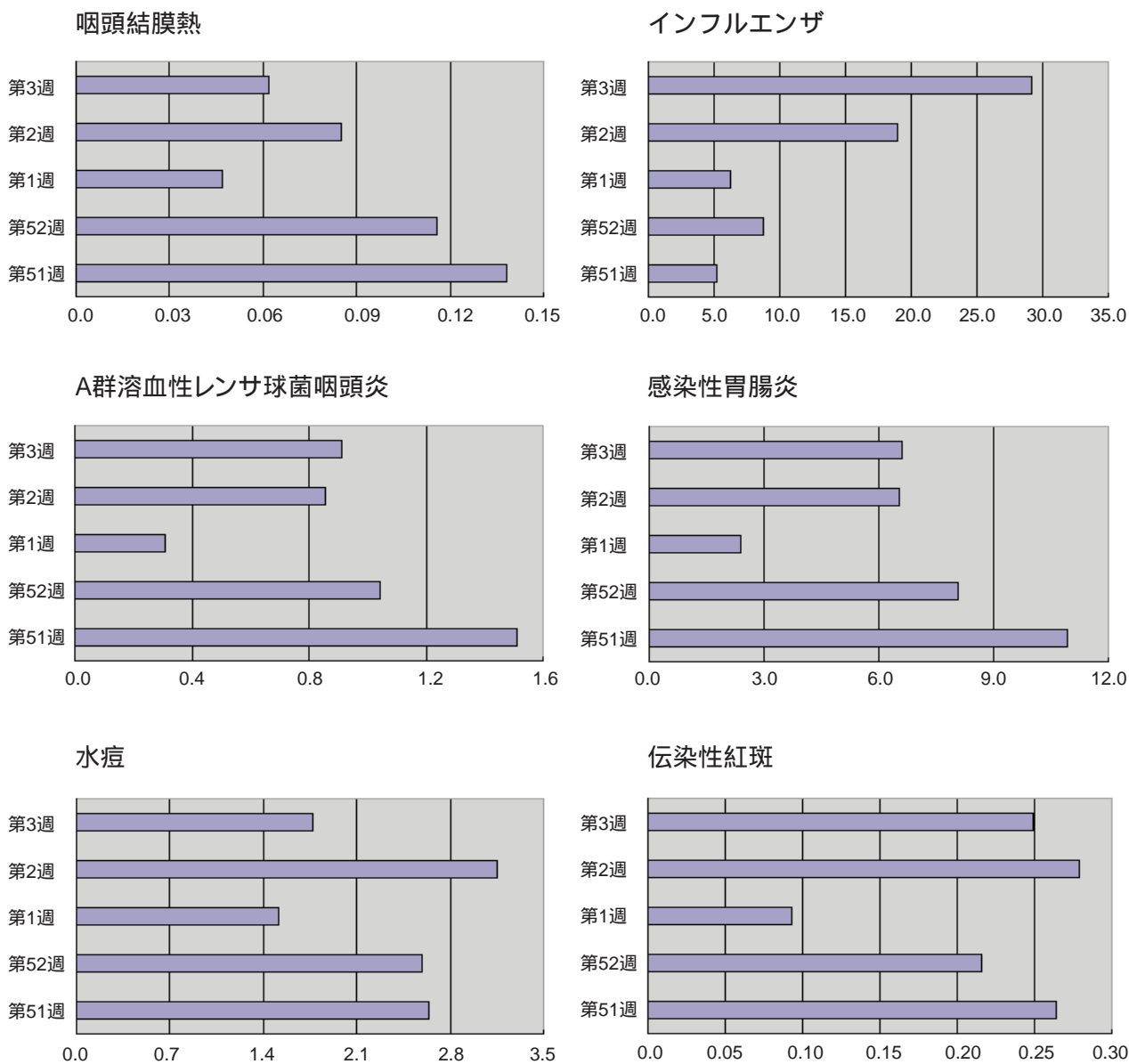
発生動向総数(第3週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患－5週間の動き

インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎(微増)の定点当たり報告数は前週に比べて増加した。咽頭結膜熱、水痘、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

12月コメント

性感染症について(平成15年1月10日集計分)

2002年12月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.40(男1.41、女1.99)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.87(男0.39、女0.48)、尖形コンジロームが0.47(男0.26、女0.22)、淋菌感染症が1.72(男1.38、女0.34)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べ、いずれも減少あるいは横ばい傾向にある。(27~30ページグラフ総覧参照)。過去3年間の同時期と比較すると、男性の性器ヘルペスウイルス感染症、女性の尖形コンジロームで平均+1標準偏差(SD)を超えている(図2)。

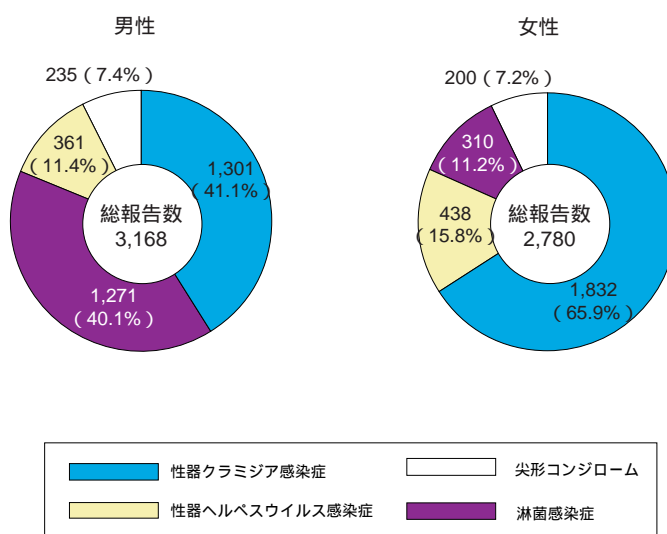
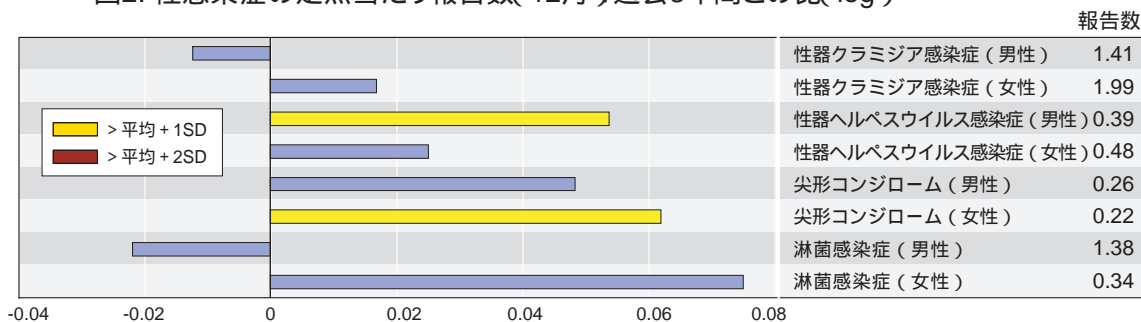


図1. 各性感染症の総報告数に占める割合(12月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(12月)過去3年間との比(log)



当該月と過去3年間の平均(過去3年間の前月、当該月、後月の合計9カ月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると(図3)、いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50歳代以降の高年齢層からの報告も少なくない。淋菌感染症ではいずれの年齢層でも男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数が多い傾向が認められた。(12月の性感染症定点総数は921)

感染症法が施行された1999年4月以降について、15～29歳の若年齢者層での各性感染症の男女別月別定点当たり報告数を図4に示した。男女共に、冬季に減少が見られる。

注:本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。

図3. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

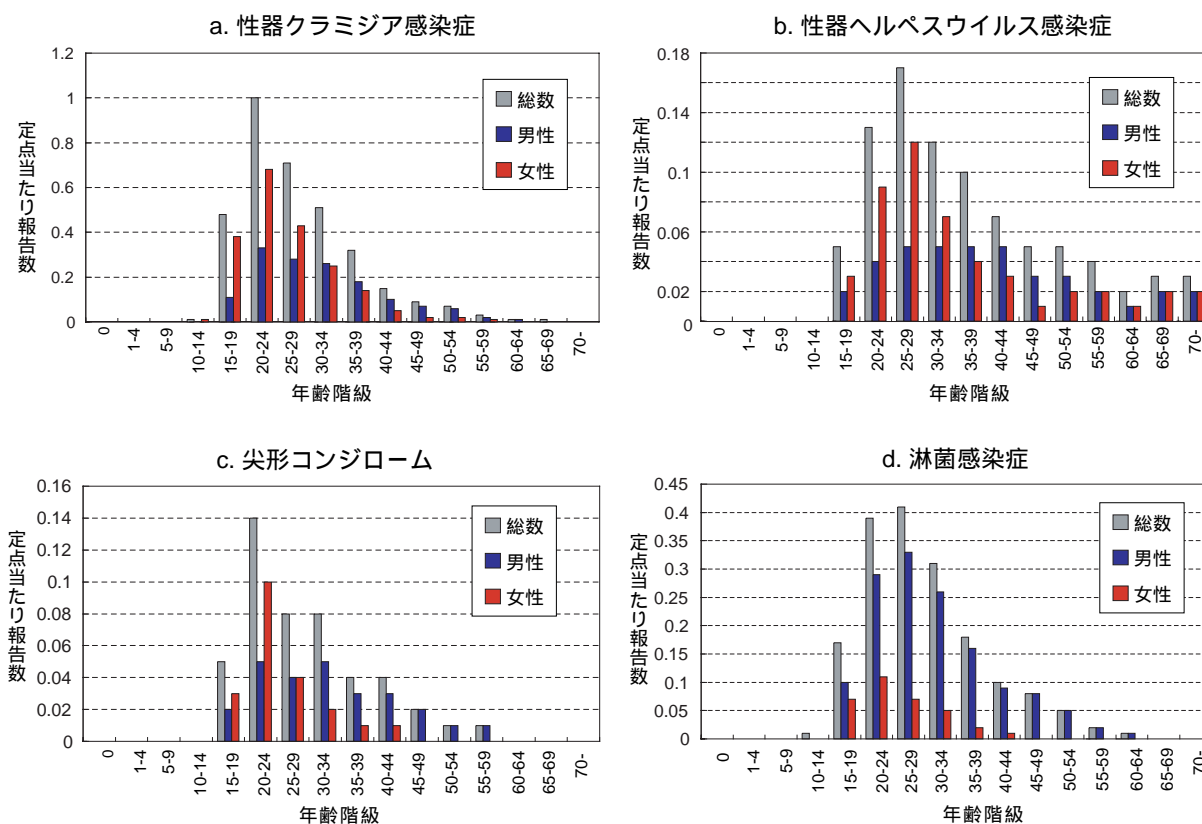
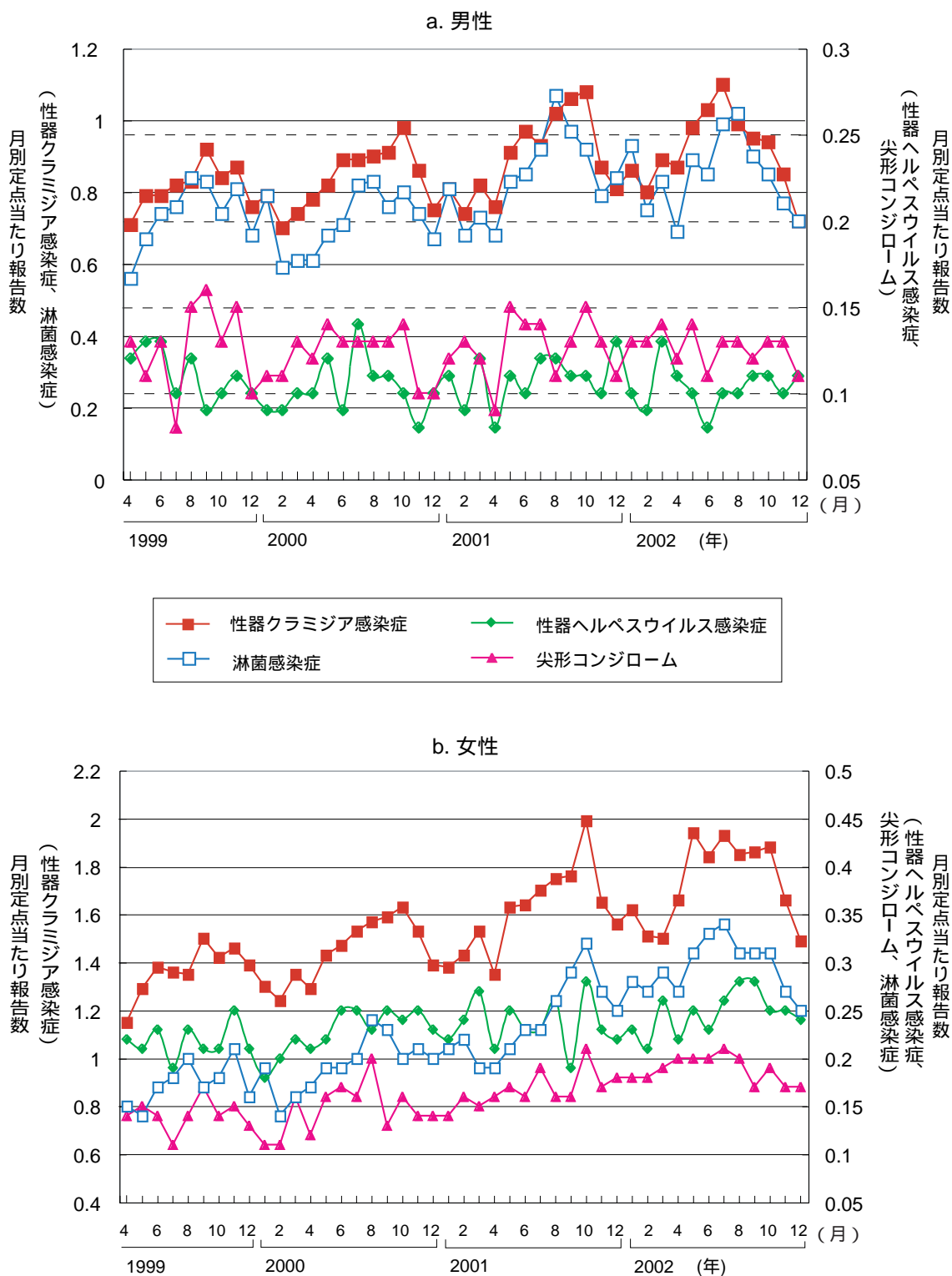


図4. 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15～29歳)



薬剤耐性菌感染症について(平成15年1月10日集計分)

【注】)内の+、-、=は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

12月の基幹定点総数: 467 .

12月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.28(-)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 1.51(+)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.13(+)

年齢階級別: MRSA感染症 高齢者に多く、65歳以上が全体の68%を占めている。

累積でも65歳以上が65%に上る。

PRSP感染症 1~4歳(0.73)が最も多く、5歳未満が66%を占めている。

累積では1~4歳が全体の46%に上り、5歳未満は60%を占めている。

薬剤耐性緑膿菌感染症... 65歳以上が全体の76%を占めている。累積でも、65歳以上は62%を占めている。

性別: 定点当たり報告数で男性の女性に対する比率を見た場合、MRSA感染症で1.8倍、PRSP感染症で1.3倍、薬剤耐性緑膿菌感染症では2.0倍上回っている。

都道府県別: MRSA感染症 高知県(7.38)と富山県(7.00)からの報告が多い。

累積では高知県(103.38)と山口県(103.14)からの報告が多く、長崎県(3.73)からの報告が非常に少ない。

PRSP感染症 5月から引き続き千葉県(8.00)からの報告が非常に多く、累積でも特に多い(94.25)。12月に京都府(累積で 0.14)から初めての報告があり、青森県からは依然報告がない。

薬剤耐性緑膿菌感染症... 埼玉県(0.78)からの報告が多い。東海・北陸地方からは報告がなかった。累積では岡山県(5.25)と東京都(5.10)からの報告が多い。

月別: MRSA感染症の定点当たり報告数は、11月に引き続き昨年の同時期を下回っている。

PRSP感染症の定点当たり報告数は、6カ月間連続で昨年の同時期を上回っている。

結核サーベイランス月報(平成15年1月22日集計分)

12月の新登録患者数は2,551人、活動性肺結核患者は2,094人(うち喀痰塗抹陽性患者は919人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は464人、非定型抗酸菌陽性者数は226人であった。

*マル初...結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

インフルエンザ

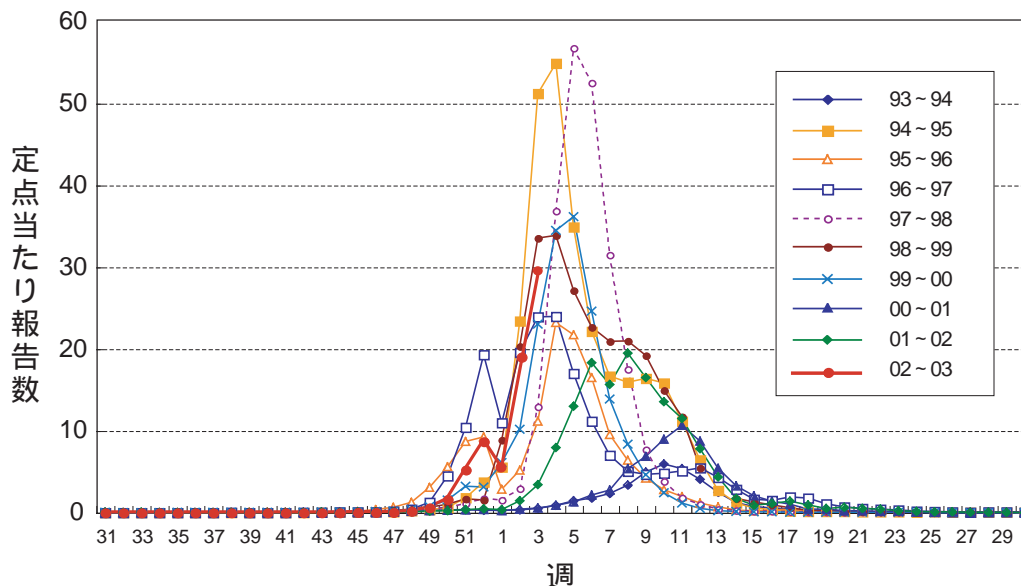
インフルエンザの定点当たり報告数は2003年に入って6.2(第1週)、19.0(第2週)、29.2(第3週)と急増している。第3週では、東北の青森県、宮城県、山形県、岩手県を除く全ての都道府県において定点当たり報告数は10.0を超えており、全国の多くの地域でインフルエンザが流行している(図)。特に九州、北陸などを中心とした都道府県からの報告が多く、全国24都道府県で定点当たり報告数が30.0を超えた。

病原体ではA香港型(H3N2)が分離されたウイルスの大半を占めているが、B型も分離報告がある。Aソ連型(H1N1)については、今シーズンの分離報告は未だない。

インフルエンザの総合的な情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>

図. 過去10年間のインフルエンザシーズン毎のトレンドグラフ



インフルエンザ警報・注意報

第3週においては、全国すべての都道府県にわたり、277の保健所で注意報、230の保健所で警報の基準値を超えている。埼玉県以西ではほとんどの都府県で警報基準値を超えた保健所が認められ、流行は関東地域においても拡大中である。感染症発生動向調査では、同週の全国レベル定点当たり報告数が29.2人となり、過去10年間で同じ週の報告数を比較すると、94/95シーズン、98/99、92/93に続いて4番目の報告数である。

警報・注意報の地図情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/inf-keiho/trend02.html>



病原体情報

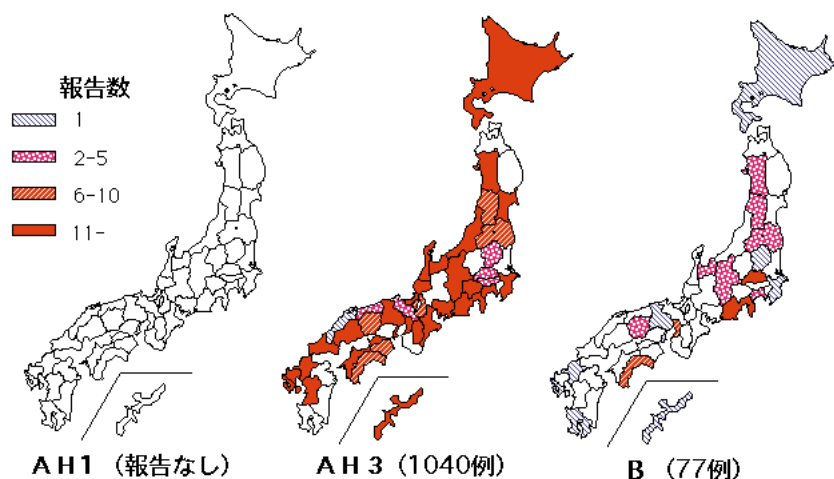
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2003年1月24日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2002/2003シーズン

AH3型ウイルスは、これまでに38都道府県の49地方衛生研究所(地研)から1,040件(PCRのみの検出15件を含む)報告されている。このうちN型別された93件はすべてN2であった。第50週から第2週までの報告数は順に150、252、160、55、215で、年末年始に一時減少したが、再び増加している。B型ウイルスは分離された地域がさらに増加し、これまでに19道府県の22地研から77件(うち埼玉県25)報告されている。AH1型ウイルスの報告はまだない。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報: 2003年1月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



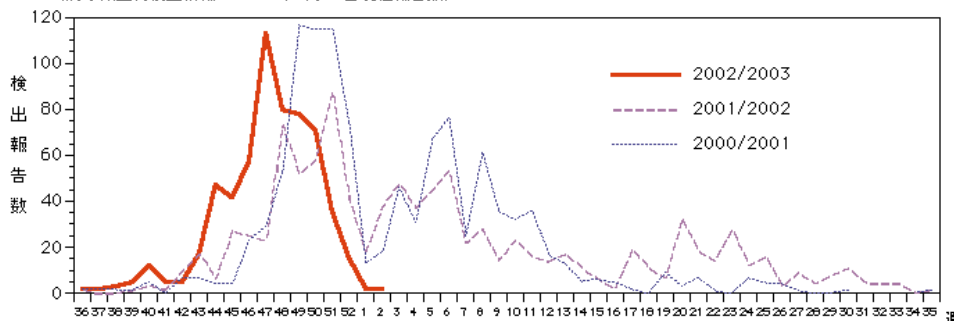
Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2002/2003シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)の検出報告は第43週以降増加し、第47週までの報告数は過去2シーズン同期の報告数を大きく上回っている。SRSVは計592件で、全体の約7割は0～4歳の乳幼児からの検出である。SRSVの内訳はノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが394件(愛媛県90、岩手県39、東京都30など)と大部分を占め、その他NLV genogroup Iが3件(愛媛県)、NLV genogroup不明が183件(山形県148、福井県17など)、サッポロ様ウイルス(SLV)が2件(大阪市)、電顕による検出が10件(栃木県4など)報告されている。ロタウイルスは、A群が36件(東京都8、大阪市6、島根県5など)、C群が2件(岩手県2)、群不明(電顕による検出)が6件(愛媛県6)報告されている。

週別SRSV検出報告数、過去2シーズンとの比較(2000/2001-2002/2003)

(病原微生物検出情報: 2003年1月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

アフガニスタンでの百日咳流行 - 更新

WHO/CSR 2003/1/21

アフガニスタン北東部の州都BadakhshanのKhwahan地区での百日咳の流行に対し、国連、WHO、アフガニスタン保健省で構成された医療緊急対策チームがKhwahanとDarwaz地区で、百日咳ワクチンを受けていない人を守るため、抗菌薬エリスロマイシンの配布活動を行っている。流行している5地区の15歳以下の小児全員に、10日間のエリスロマイシンの治療的処方を行っている。2人一組の39チームが189の村で毎日100人の治療的処方を行っている。

ドイツで、ルーマニアに関係した旋毛虫症3名の発生

Eurosurveillance Weekly 2003, Vol. 7, Issue 4

2002年11月15～18日の間に、フランクフルト在住の2名の女性(47歳と55歳)と1名の52歳男性が旋毛虫症に感染した。臨床症状は発熱、頭痛、筋肉痛、下痢、眼瞼浮腫、全身衰弱、好酸球増多を示した。2名の診断は後に血清学的に確定し、3例目は疫学的に診断された。

発端症例の55歳女性は、11月初旬にルーマニアに旅行したことがあった。この女性は、野生のイノシシとブタ肉から作った薫製ソーセージを11月4日のプライベートパーティーで食し、旋毛虫に感染したと疑われている。このソーセージの一部はルーマニアから持ち帰られ、他の2人の感染原因になった。

近年、不十分に調理されたイノシシとブタ肉に関連した旋毛虫症が、バルカン諸国(クロアチア、旧ユーゴスラビア、ルーマニア)と東欧、特にウクライナから数例報告されている。ドイツでは数例の輸入例が報告されている。

ギニアでの黄熱流行

CDC/Travel-Outbreak 2003/1/23

WHOによると、2003年1月17日現在森林型黄熱患者11名と死亡者4名が、西アフリカのギニアのMacenta地区で発生した。ギニア保健省とWHOのチームは流行の調査を行っている。検査のための検体がダカルとパリのパスツール研究所に送られた。米国CDCは、ギニアへの旅行者に対し黄熱ワクチンの接種を推奨している。(訳注: WHOの公式ホームページには該当発表なし)

ノロウイルス活動性2002年 - 米国

CDC/MMWR 2003/1/23

2002年6～12月に米国に入港するクルーズ客船での急性胃腸炎(AGE)の流行報告が増加し、加えて2002年10月以降、数州の老人ホームなどの入所施設で臨床的・疫学的にノロウイルスと一致するAGEの流行が増加した。この報告では、2つの州とニューヨーク市(NYC)での最近のノロウイルス活動性のデータと、現在ノロウイルス株の1つが主力として循環している可能性を示唆するCDCのデータを記載する。

ワシントン州: 2002年11～12月の期間、ワシントン州のClark郡Southwest Washington保健地区当局に、長期介護施設(LTCFs)6カ所と地域病院1カ所、外来クリニック1カ所および郡刑務所で10件の流行が発生し、354名が感染したと報告された。

ニューハンプシャー州: 2002年ニューハンプシャー州保健福祉局(NHDHHS)は、LTCFsや介護施設29カ所、レストラン2カ所、学校2カ所、宿泊を伴うサマーキャンプ2カ所において、臨床的および疫学的にノロウイルスが原因と見られるAGEの流行35件を調査した。

35件のノロウイルス流行中、総計2,312名がAGEを発症し、13名が入院した。また、LTCFsでの患者2名が死亡した。疫学的調査でそれぞれ、ヒトからヒトへの感染伝播32件、食物を介した感染2件、水による感染1件が判明した。

ニューヨーク市(NYC): 2002年11月6日 ~ 2003年1月13日の間にNYCでは、疫学的にノロウイルスと合致するAGE流行66件が発生し、約1,700名が発病したとNYC保健精神衛生課(DOHMH)とニューヨーク州保健局(NYSDOH)に報告された。流行が発生した場所は、老人ホーム、LTCFsおよびリハビリセンター51カ所、病院10カ所、レストラン3カ所、ホームレス収容所1カ所および学校1校であった。

CDC 検査室サーベイランス: 2002年5 ~ 12月の間に、全米のAGE流行48件で採取された糞便検体の検査を行った。

37件の流行で採取された検体中、27件(73%)でノロウイルスが検出された。このうち11件(41%)がFarmington Hills株であった。11件中6件が5州(アーカンソー、ジョージア、ケンタッキー、ノースカロライナ、およびユタ州)で発生し、残り5件はクルーズ客船での流行に関連した。また、NYCにおけるノロウイルス流行6件での検体2件中1件と、NYC EDsで採取されたノロウイルス陽性検体3件中2件で、Farmington Hills株が同定された。



感染症の話

麻疹

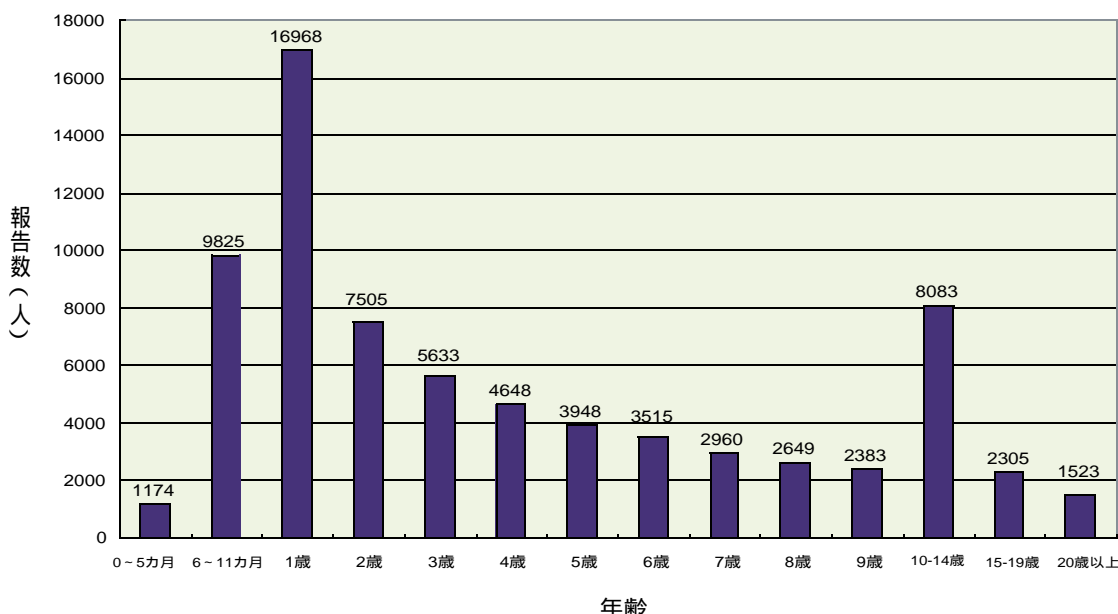
麻疹(measles)は感染症法に基づく4類感染症定点把握疾患であり、その報告は全国約3,000カ所の小児科定点より毎週なされる。また、学校保健法に基づく第二種の伝染病に属し、登校基準としては、「発疹に伴う発熱が解熱した後3日を経過するまで出席停止とする」と述べられている。感染性は非常に高く、感受性のある人(免疫抗体を持たない人)が暴露を受けると90%以上が感染する。年齢では1歳にピークがあり、約半数が2歳以下である。

わが国の1歳児の麻疹ワクチン接種率は約50%と極めて低く、患者のほとんどが予防接種未接種である。また我が国では麻疹による死亡例が毎年報告されており、厚生省(現厚生労働省)の人口動態統計をみると、数千人の麻疹による死亡者が出ていた50年前と比較すると死亡数の減少は著しいが、現在もなお数十名の死亡例があり、年齢的には0~4歳児が大半を占め、特に0、1歳児の占める割合が多い。

疫学¹⁾

ヒトからヒトへの空気感染(飛沫核感染)の他に、さらに、飛沫感染、接触感染など様々な感染経路で感染する。我が国では通常春から夏にかけて流行する。過去1984年に大きな全国流行があり、1991年にも流行があったがやや小さく、その後大きな全国流行はなかった。しかし、毎年地域的な流行が反復している。感染症発生動向調査では、国内約3,000の小児科定点から年間1~3万例の報告があり、実際にはこの10倍以上の患者が発生していると考えられる。この中で2歳以下の罹患が約50%を占めており(図1)、罹患者の95%以上が予防接種未接種である。近年の推移を見ると、小児科定点から報告された麻疹患者数は、1999(平成11)年には過去最低となっていたが、2001(平成13)年は過去10年間では1993(平成5)年に次いで二番目に大きい流行であった。2001年は当初より高知県、奈良県、九州地方などで流行がみられ、3月に入って北海道でも

図1. 小児科定点からの麻疹年齢階級別患者報告数
〔1999(平成11)年14週~2002(平成14)年29週累計〕感染症発生動向調査より



患者数が急増した。図2にも示すように、近年の麻疹流行の特徴は、流行の多い県と少ない県が隣り合っていることである。性別内訳ではやや男性に多い。また、平成11年度から、全国約500の基幹病院定点より成人麻疹(18歳以上)の患者発生が報告されているが、2001年は過去3年間で最も多い報告数となっている。これらの症例の多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。年齢階級別で多いのは、20～24歳、20歳未満、25～29歳などである。発症予防には麻疹ワクチンが有効であるが、感染症流行予測調査によると国内での麻疹ワクチン接種率は低く、1歳児の接種率は約50%である(図3)。2000年度同調査から感受性人口を推計すると、日本全国で300万人弱の感受性者が存在していると考えられる(図4)²⁾。

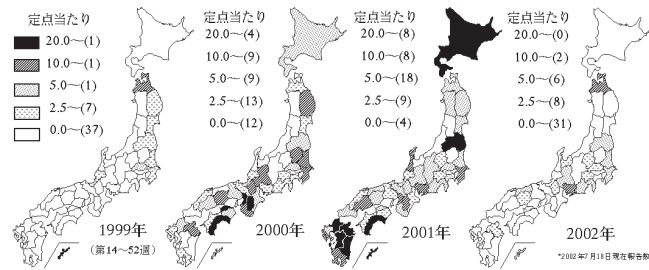


図2. 都道府県別麻疹患者発生状況(小児科定点からの麻疹患者報告数)
感染症発生動向調査より。()内数字は都道府県数

図3. 年齢別麻しんワクチン、MMRワクチン接種率
2001(平成13)年度感染症流行予測調査より

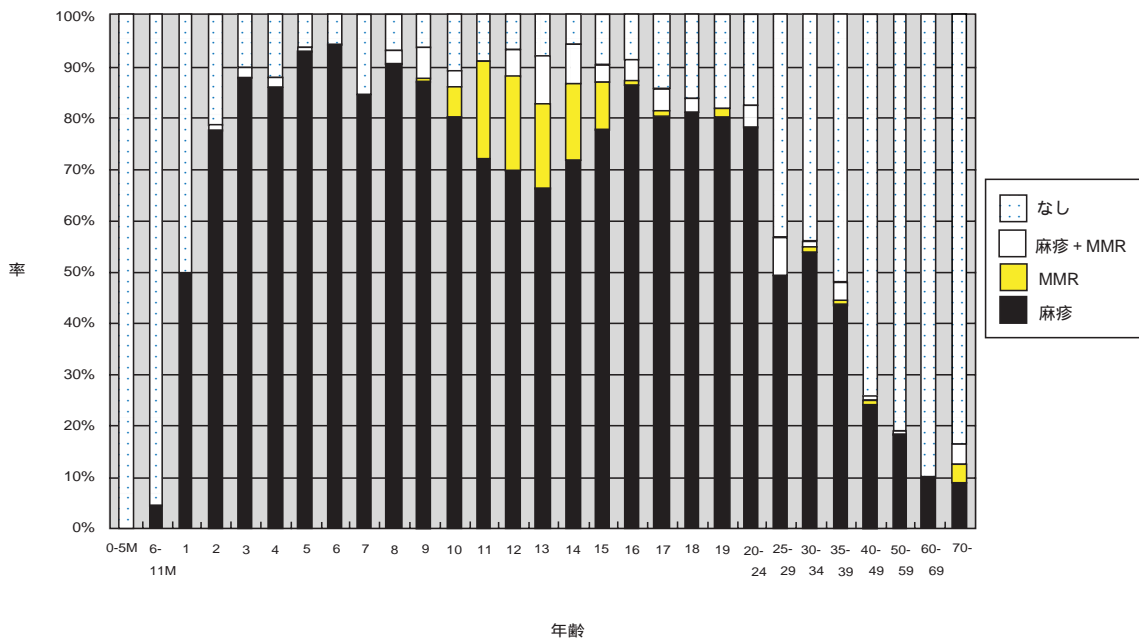
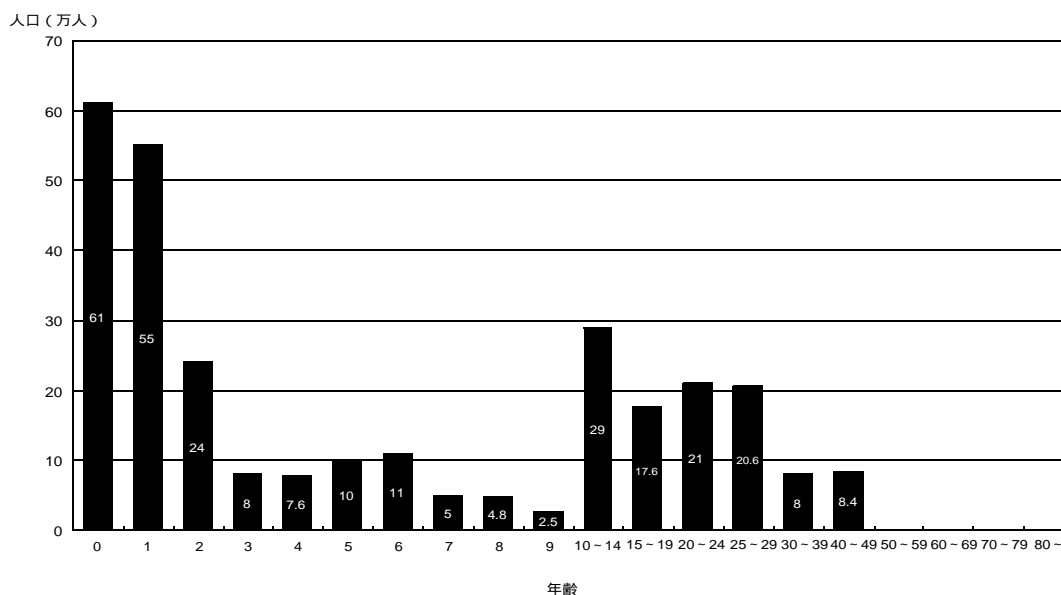


図4. 日本における麻疹感受性者数の推計
2000(平成12)年度感染症流行予測調査より(グラフ内数字は人数)



病原体³⁾

原因ウイルスである麻疹ウイルスはParamyxovirus科Morbillivirus属に属し、直径100 ~ 250nmのエンベロープを有する一本鎖RNAウイルスである。AからHのcradelに分類され、genotypeは22種類報告されている。日本で主に流行しているのはD3, D5タイプであり、ワクチン株はAタイプである⁴⁾。

麻疹ウイルスのレセプターは1993年、補体調節蛋白であるCD46(membrane cofactor protein : MCP)であると発表された⁵⁾。CD46はヒトの全ての有核細胞に発現しており、サルでは良く似たホモログが赤血球にも認められるため、麻疹ウイルスのサル赤血球凝集反応が起こると説明されていたが、リンパ組織を中心に感染することについての機序は不明であった。

2000年、Tatsuoらにより麻疹ウイルスのレセプターがリンパ組織に特異的に発現する膜蛋白SLAM(signaling lymphocyte activation molecule ; CDw150)であることがNatureに発表され⁶⁾、SLAMは未熟胸腺細胞、活性化されたリンパ球・単球、成熟樹状細胞に発現し、リンパ球の活性化とIFN- 産生制御を誘導すると報告されている。

感染後はリンパ節、脾臓、胸腺など全身のリンパ組織を中心に増殖する。エンベロープ蛋白のうち、F(fusion)蛋白とH(hemagglutinin)蛋白がその病原性に大きくかかわっているが、F蛋白はウイルスと宿主細胞の膜融合を引き起こし、宿主細胞へのウイルスの侵入を可能にすることが知られている。1980年代の流行から始まったH遺伝子の変異は、1990年代になってF遺伝子に及んでいる。H蛋白、F蛋白は感染防御抗体を作らせる蛋白なので、これらの部位での変異を注視する必要がある。幸い現在までのところ、現行ワクチンによる感染防御効果には変化は見られていないが、これまで中国や韓国で流行していたH1タイプのウイルスが国内でも報告されている。ウイルスは熱、紫外線、酸(pH < 5)、アルカリ(pH > 10)、エーテル、クロロホルムによって速やかに不活化される。空気中や物体表面では生存時間は短い(2時間以下)。

臨床症状^{7),8),9)}

<前駆期(カタル期)>

感染後に潜伏期10～12日を経て発症する。38前後の発熱が2～4日間続き、倦怠感があり、不機嫌となり、上気道炎症状(咳嗽、鼻漏、くしゃみ)と結膜炎症状(結膜充血、眼脂、羞明)が現れ、次第に増強する。

乳幼児では消化器症状として下痢、腹痛を伴うことが多い。発疹出現の1～2日前頃に頬粘膜の臼歯対面に、やや隆起し紅暈に囲まれた約1mm径の白色小斑点(コプリック斑)(写真1)が出現する。コプリック斑は診断的価値があるが、発疹出現後2日目の終わりまでに急速に消失する。また、口腔粘膜は発赤し、口蓋部には粘膜疹がみられ、しばしば溢血斑を伴うこともある。



写真1. 口腔内にみられるコプリック斑

<発疹期>

カタル期での発熱が1程度下降した後、半日くらいのうちに再び高熱(多くは39.5以上)が出るとともに(2峰性発熱)特有の発疹(写真2)が耳後部、頸部、前額部より出現し、翌日には顔面、体幹部、上腕におよび、2日後には四肢末端にまでおよぶ。発疹が全身に広がるまで、発熱(39.5以上)が3～4日間続く。発疹ははじめ鮮紅色扁平であるが、まもなく皮膚面より隆起し、融合して不整形斑状(斑丘疹)となる。指圧によって退色し、一部には健常皮膚を残す。発疹は次いで暗赤色となり、出現順序に従って退色する。発疹期にはカタル症状は一層強くなり、特有の麻疹様顔貌を呈する。



写真2. 顔面にみられる発疹

<回復期>

発疹出現後3～4日間続いた発熱も回復期に入ると解熱し、全身状態、活力が改善してくる。発疹は退色し、色素沈着がしばらく残り、僅かの糠様落屑がある。カタル症状も次第に軽快する。合併症のないかぎり7～10日後には回復する。患者の気道からのウイルス分離は、前駆期(カタル期)の発熱時に始まり、第5～6発疹日以後(発疹の色素沈着以後)は検出されない。この間に感染力をもつことになるが、カタル期が最も強い。

<合併症>

(1)肺炎:麻疹の二大死因は肺炎と脳炎であり、注意を要する。

[ウイルス性肺炎]病初期に認められ、胸部X線上、両肺野の過膨張、瀰漫性の浸潤影が認められる。また、片側性の大葉性肺炎の像を呈する場合もある。

[細菌性肺炎]発疹期を過ぎても解熱しない場合に考慮すべきである。抗菌薬により治療する。原因菌としては、一般的な呼吸器感染症起炎菌である肺炎球菌、インフルエンザ菌、化膿レンサ球菌、黄色ブドウ球菌などが多い。

[巨細胞性肺炎]成人の一部、あるいは特に細胞性免疫不全状態時にみられる肺炎である。肺で麻疹ウイルスが持続感染した結果生じるもので、予後不良であり、死亡例も多い。発疹は出現

しないことが多い。本症では麻疹抗体は産生されず、長期間にわたってウイルスが排泄される。発症は急性または亜急性である。胸部レントゲン像では、肺門部から末梢へ広がる線状陰影がみられる。

(2)中耳炎:麻疹患者の約5～15%にみられる最も多い合併症の一つである。細菌の二次感染により生じる。乳幼児では症状を訴えないため、中耳からの膿性耳漏で発見されることがあり、注意が必要である。乳様突起炎を合併することがある。

(3)クループ症候群:喉頭炎および喉頭気管支炎は合併症として多い。麻疹ウイルスによる炎症と細菌の二次感染による。吸気性呼吸困難が強い場合には、気管内挿管による呼吸管理を要する。

(4)心筋炎:心筋炎、心外膜炎をときに合併することがある。麻疹の経過中半数以上に、一過性の非特異的な心電図異常が見られるとされるが、重大な結果になることは稀である。

(5)中枢神経系合併症:1,000例に0.5～1例の割合で脳炎を合併する。発疹出現後2～6日頃に発症することが多い。髄液所見としては、単核球優位の中等度細胞増多を認め、蛋白レベルの中等度上昇、糖レベルは正常かやや増加する。麻疹の重症度と脳炎発症には相関はない。患者の約60%は完全に回復するが、20～40%に中枢神経系の後遺症(精神発達遅滞、痙攣、行動異常、神経聾、片麻痺、対麻痺)を残し、致死率は約15%である。

(6)亜急性硬化性全脳炎(subacute sclerosing panencephalitis: SSPE):麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に発症することのある中枢神経疾患である。知能障害、運動障害が徐々に進行し、ミオクローヌスなどの錐体・錐体外路症状を示す。発症から平均6～9カ月で死の転帰をとる、進行性の予後不良疾患である。発生頻度は、麻疹罹患者10万例に1人、麻疹ワクチン接種者100万人に1人である。

病原診断

ウイルス分離、麻疹特異的IgM抗体価の測定、急性期と回復期のペア血清での麻疹IgG抗体の有意な上昇をもって診断可能である。従来日本では臨床症状のみで診断することが多かったが、今後は実験室診断が必要であると考えられる。近年の流行ウイルス株を調べたり、ウイルスのH抗原の変異などを検索する分子疫学的な調査のために、ウイルス分離は重要である。通常、咽頭拭い液、血液などから分離されるが、カタル期から発疹出現後3日以内の分離率が高い。B95a細胞を用いた場合、咽頭拭い液および血液から、早ければ24時間以内に分離される¹⁰⁾。抗体測定方法には、赤血球凝集抑制法(hemagglutination inhibition: HI法)、中和法、ゼラチン粒子凝集法(particle agglutination: PA法)、ELISA法などが用いられている。

治療・予防

特異的治療法はなく、対症療法が中心となるが、中耳炎、肺炎など細菌性の合併症を起こした場合には抗菌薬の投与が必要となる。それ故に、ワクチンによる予防が最も重要である。

母体由来の麻疹特異IgG抗体があると、接種した麻疹ワクチンウイルスの増殖が十分でないため、母体由来の抗体がほぼ消失したと考えられる生後1歳以降の児に接種を行う国が多い。我が国における現行の予防接種法では、生後12カ月～90カ月未満を接種年齢としているが、麻疹ワクチン接種は、疾患に罹患した場合の重症度、感染力の強さから考え、接種年齢に達した後なるべく速やかに、少なくとも生後12～15カ月に接種することが望ましい。例えば、誕生日との関係でポリオの集団接種の時期と重複した場合は、麻疹ワクチンを優先するのが望ましいと考えら

れる。生後6か月以降は母親由来の免疫が減弱するため、麻疹流行期や保育園などで集団生活をしている場合は、緊急避難的に1歳以前にワクチンを接種する選択もあるが、この場合の接種は定期接種ではなく、任意接種として有料で実施することになる。いずれにしても、1歳前に接種を受けた場合は、1歳以降に再接種(この場合は定期接種として実施)をする必要がある。その理由は、乳児期後期まで母親からの移行抗体が持続している場合があり、その場合はワクチンウイルスが母親の免疫で中和されてしまうため、十分な抗体が産生されない可能性があるためである。また、グロブリンを投与された後は、6か月未満の乳児と同様の理由で効果が得られないため、3か月間は接種を行わない。川崎病などの治療で大量療法を受けた場合には、6か月間あける必要がある。

ワクチンによる免疫獲得率は95%以上と報告されており、有効性は明らかである。接種後の反応としては発熱が約20~30%、発疹は約10%に認められる。いずれも軽症であり、ほとんどは自然に消失する。熱性けいれん既往者に対しては、発熱性疾患罹患時と同様の方法で抗けいれん剤(例:ジアゼパム坐剤)による予防が可能である。

ワクチンアレルギーの原因となったゼラチンに関しては、ゼラチン・フリーや低アレルギー性ゼラチンを採用するなど改善された。ごく稀に(100~150万接種に1例程度)脳炎を伴うことが報告されているが、麻疹に罹患したときの脳炎の発症率に比べると遙かに低い。

感染症法における取り扱い

麻疹は4類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000カ所の小児科定点より毎週報告がなされている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の3つの基準を全て満たすもの。

1. 全身の発疹(回復期には色素沈着を伴う)
2. 38.5 以上の発熱
3. 咳嗽、鼻汁、結膜充血などのカタル症状

なお、コプリック斑の出現は診断のための有力な所見となる

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの。

【文 献】

- 1) 国立感染症研究所 感染症情報センター. 麻疹の現状と今後の麻疹対策について. 2002, http://idsc.nih.go.jp/others/topics/measles/measles_top.html
- 2) 多屋馨子, 新井智, 松永泰子, 岡部信彦: 2000年度麻疹血清疫学調査ならびにワクチン接種率調査 ~ 感染症流行予測調査より ~ IASR. 2001; 22(11): 275-277,
- 3) Griffin D. E. Measles virus. In: Fields Virology 4th edition (ed by Knipe D.M., Howley P.M.) 2001; pp1401-1441. Lippincott Williams&Wilkins USA.
- 4) Dorig RE, Marcil A, Chopra A, Richardson CD: The human CD46 molecule is a receptor for measles virus (Edmonston strain). Cell 1993; 75 : 295-305.
- 5) Tasuo H, Ono N, Tanaka K, Yanagi Y.: SLAMF7 (CD150) is a cellular receptor for measles virus. Nature 2000; 406, 893-897.
- 6) Nomenclature for describing the genetic characteristics of wild-type measles viruses (update)

- WER 76, 242-247, 2001(part I), WER 76, 249-251,2001(part II)
- 7)Cherry J.D. Measles virus. In: Textbook of pediatric infectious diseases (ed by Ralph D. Feigin, James D. Cherry, 1998; pp1922-1949, W.B. Saunders Company, USA.
- 8)Katz SL., Gershon AA., Hotez PJ. : Measles(Rubeola): Krugman's Infectious Diseases of Children, 10th ed. Mosby-Year Book, Inc. 247-264, 1998
- 9)Committee of Infectious Diseases American Academy of Pediatrics: Measles. In: Red book 2000 Report of the committee on infectious diseases 25th edition 385-396.
- 10)Kobune F, Sakata H, Sugiura A.: Marmoset lymphoblastoid cells as a sensitive host for isolation of measles virus.J Virol. 1990;64: 700-5.

(国立感染症研究所感染症情報センター 多屋馨子)



読者のコーナー

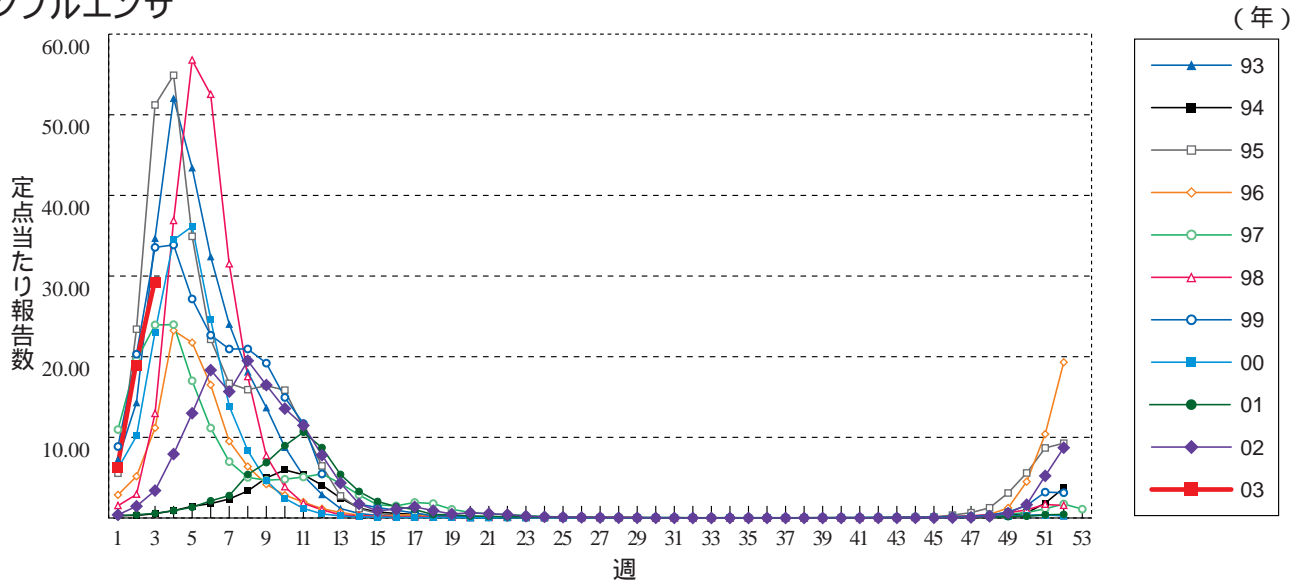
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

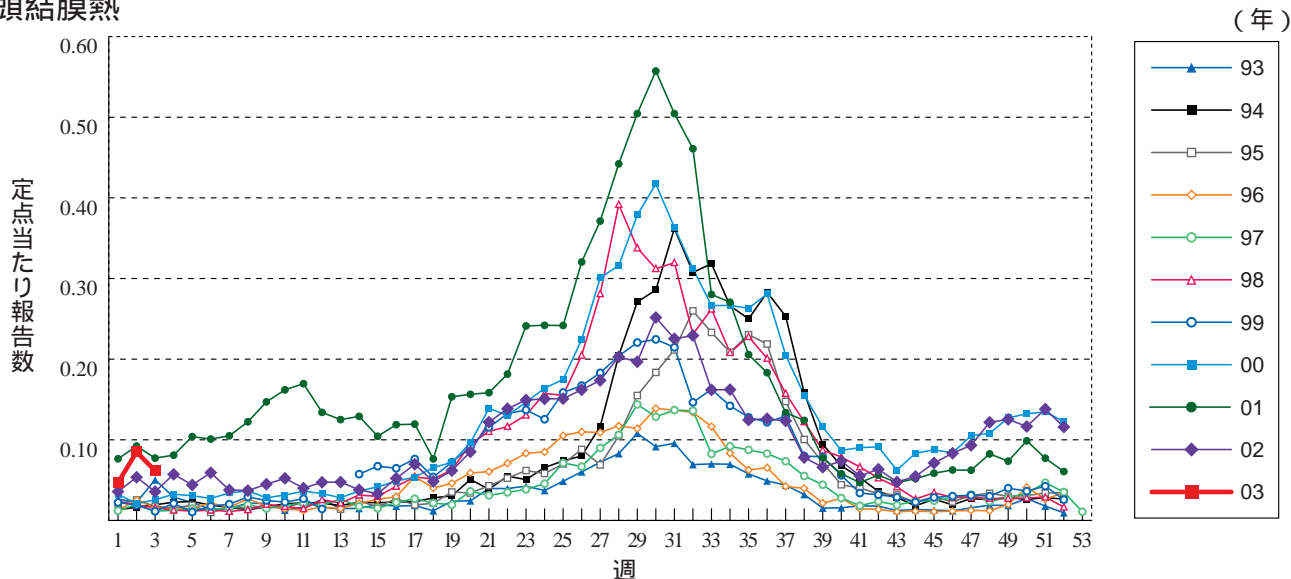


グラフ総覧(3週)

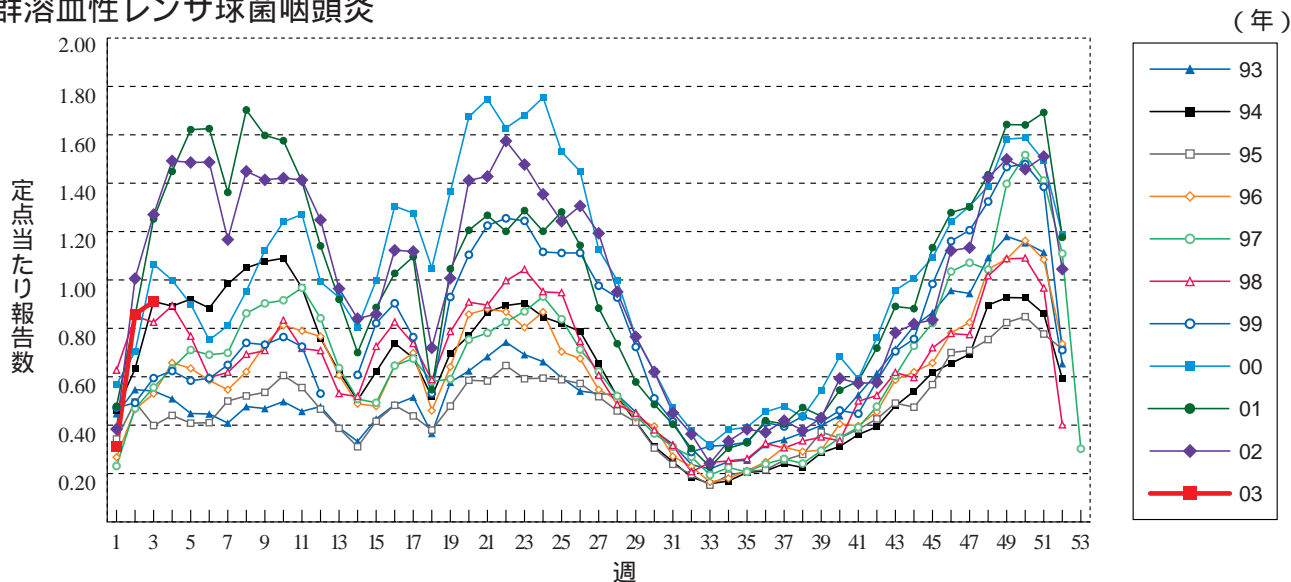
インフルエンザ



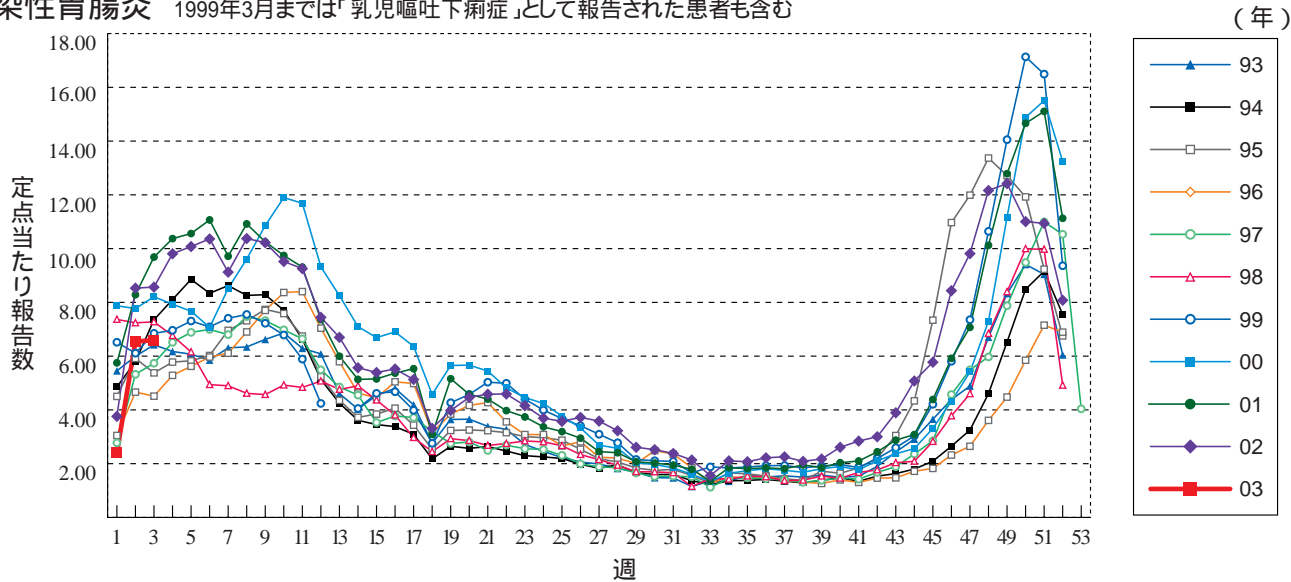
咽頭結膜熱



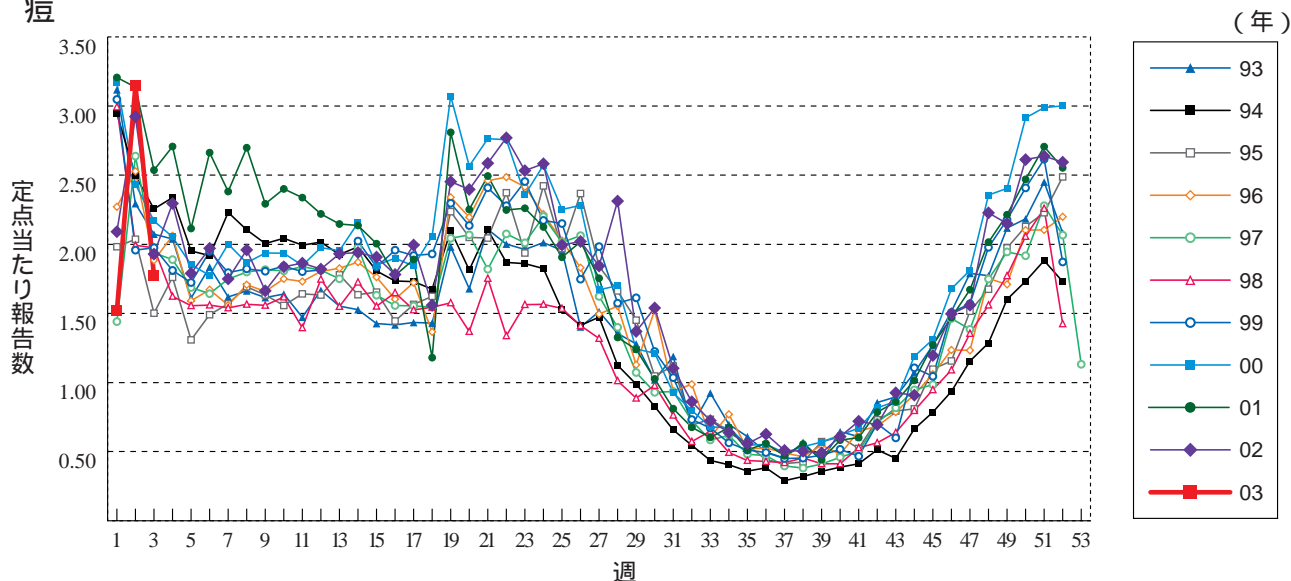
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



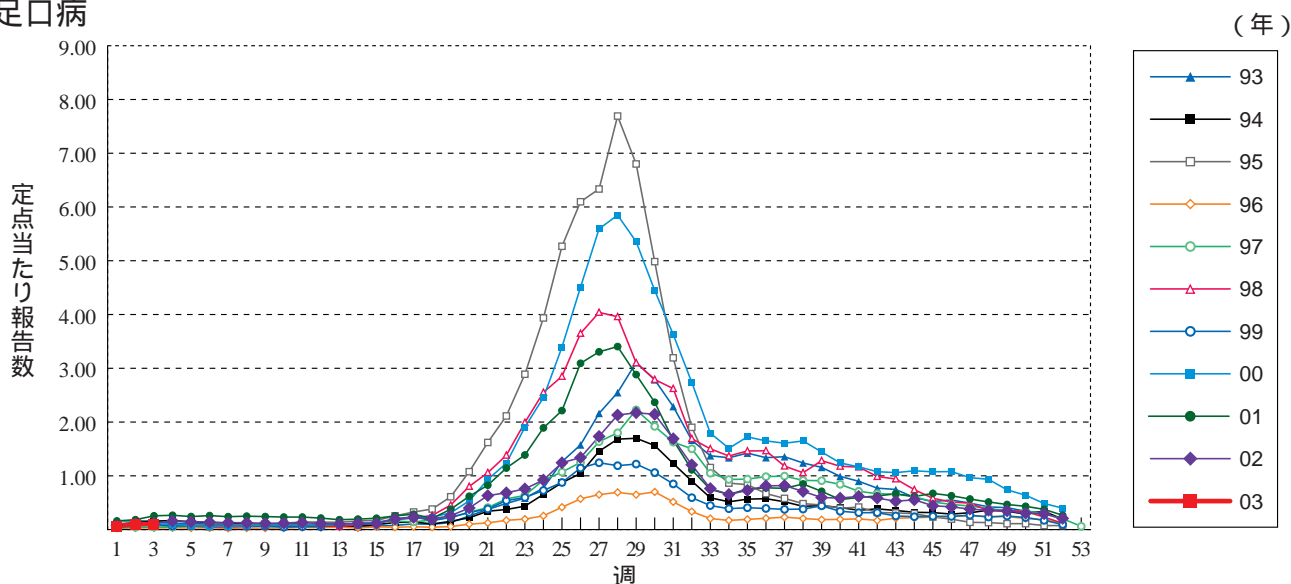
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



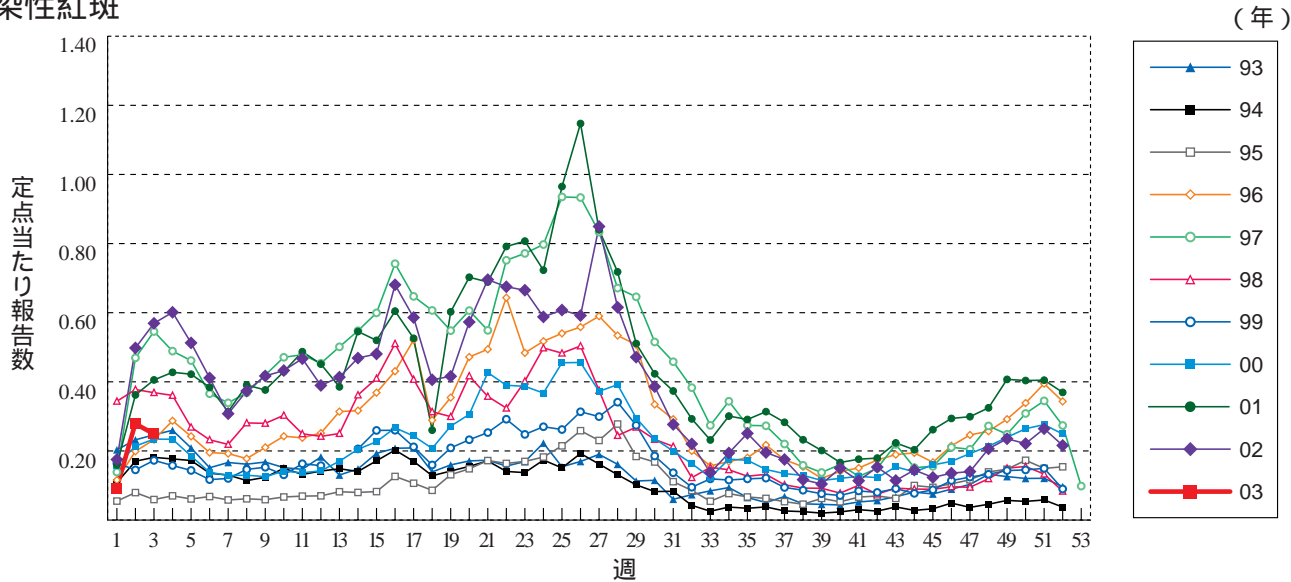
水痘



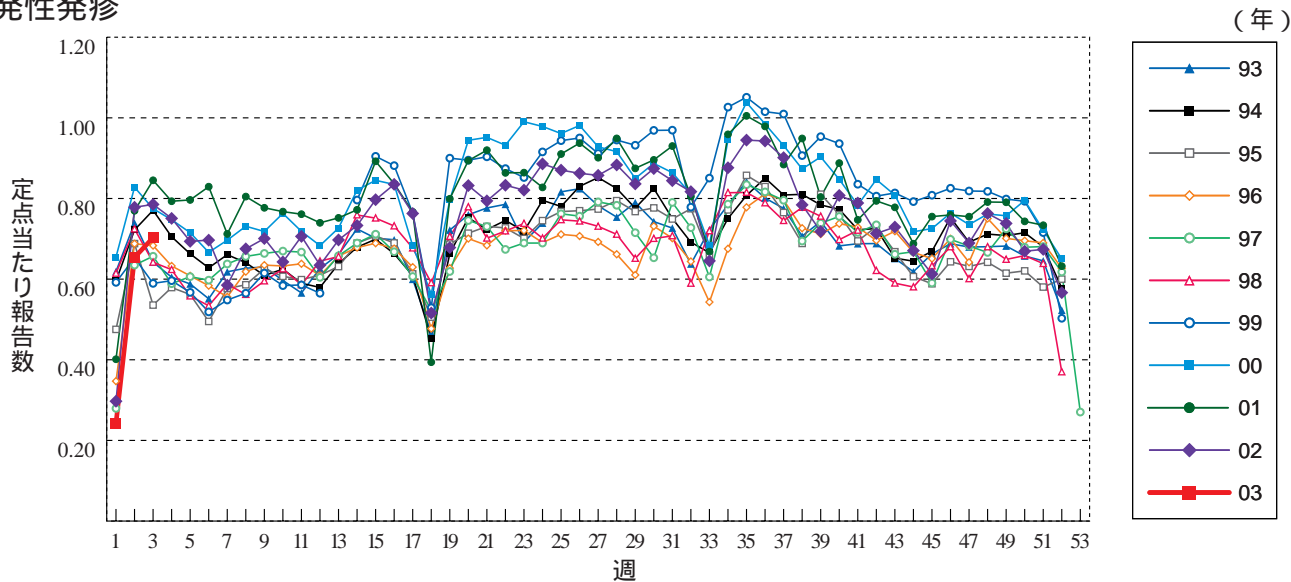
手足口病



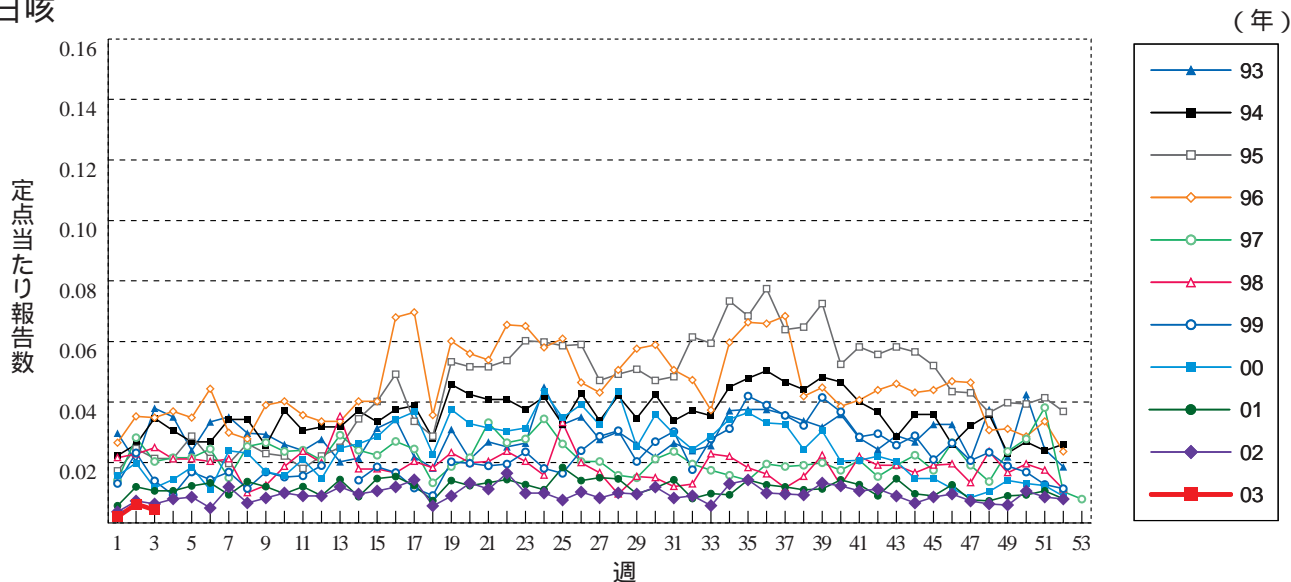
伝染性紅斑



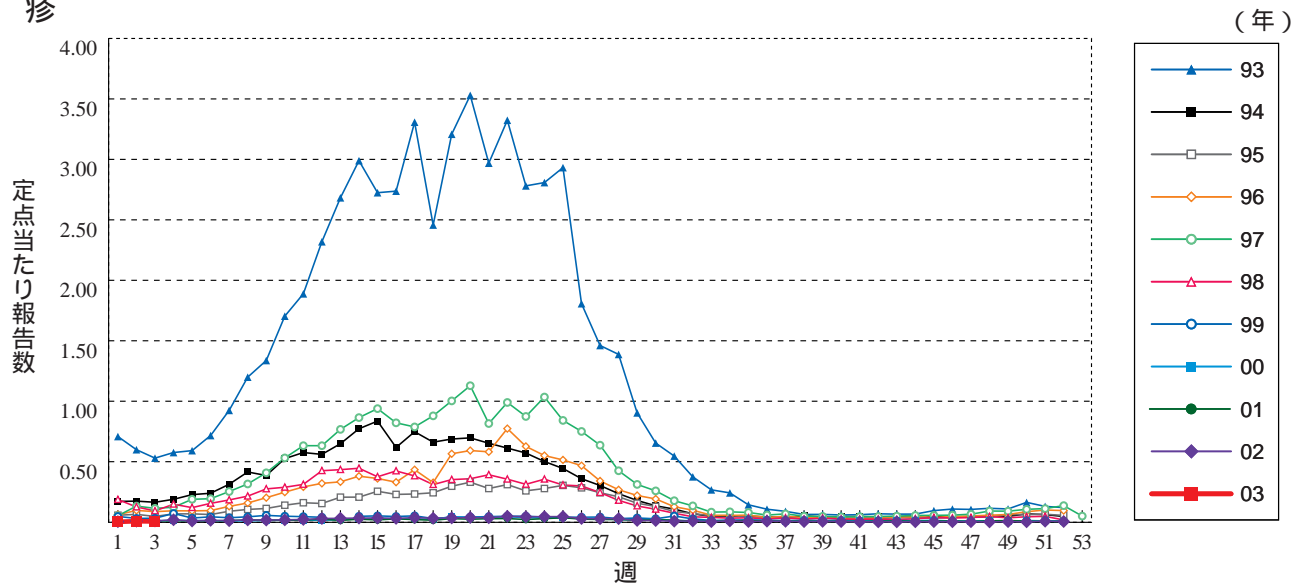
突発性発疹



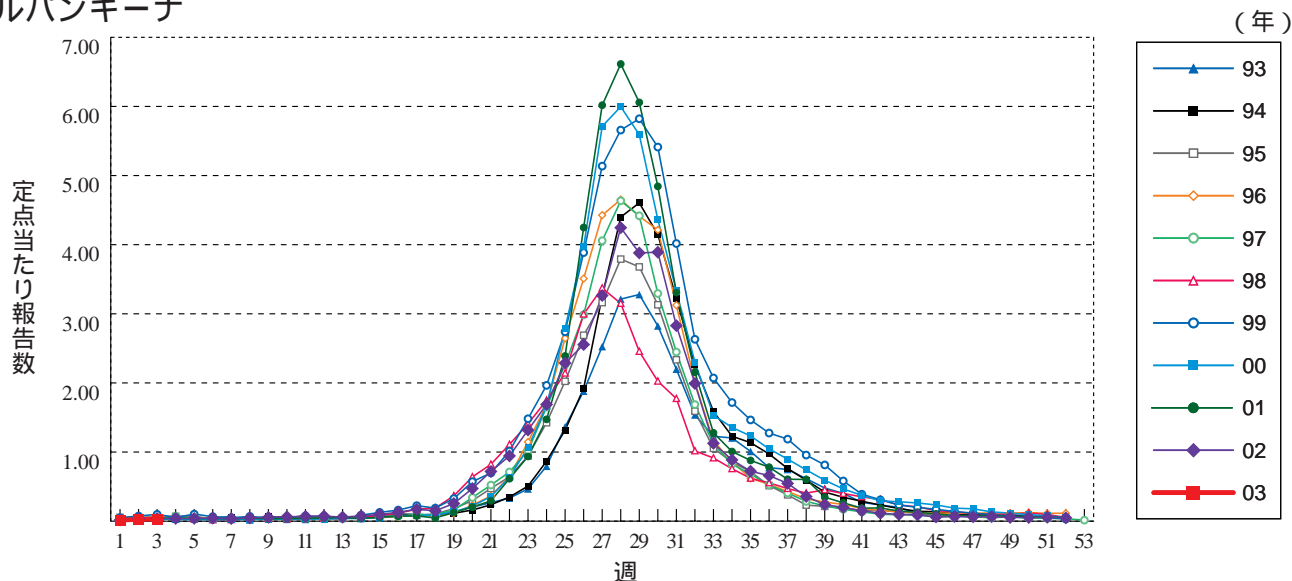
百日咳



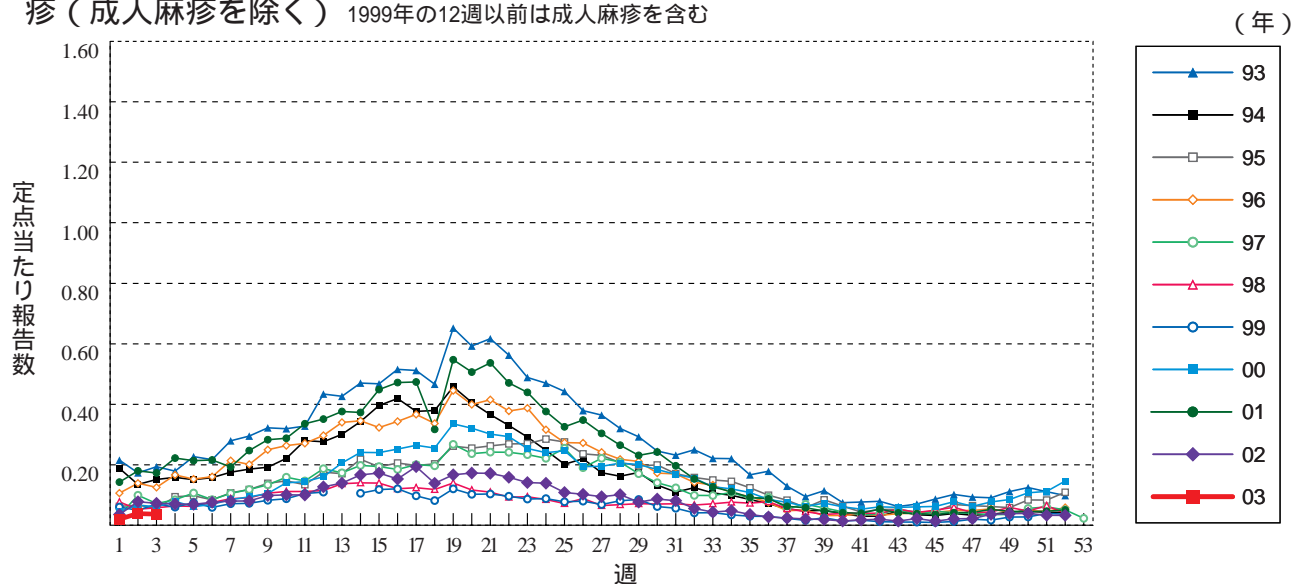
風 疹



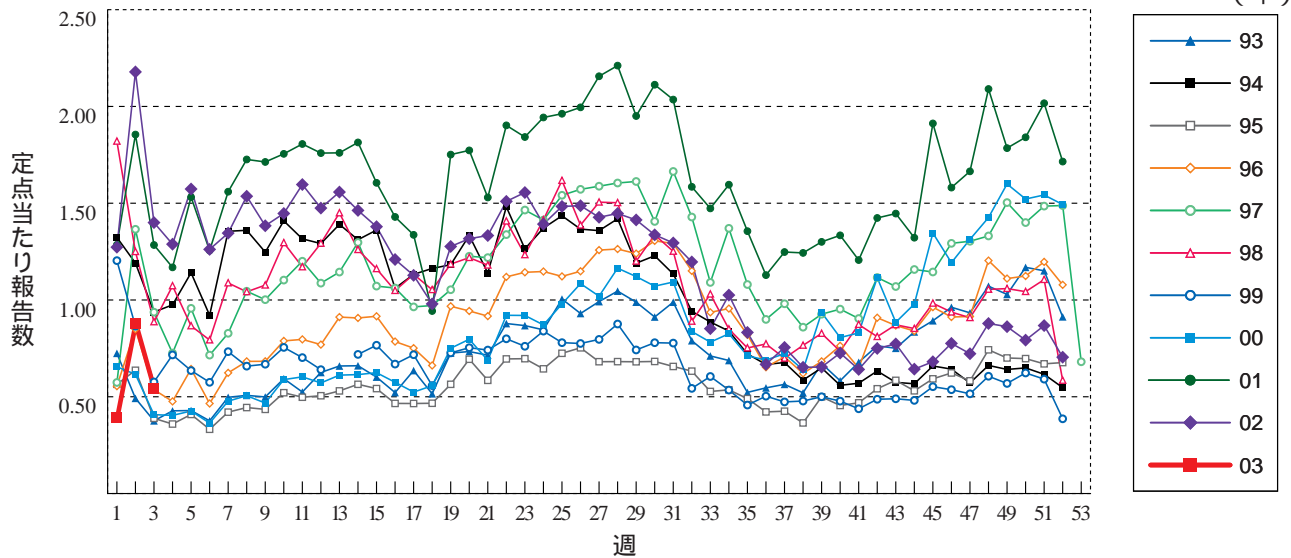
ヘルパンギーナ



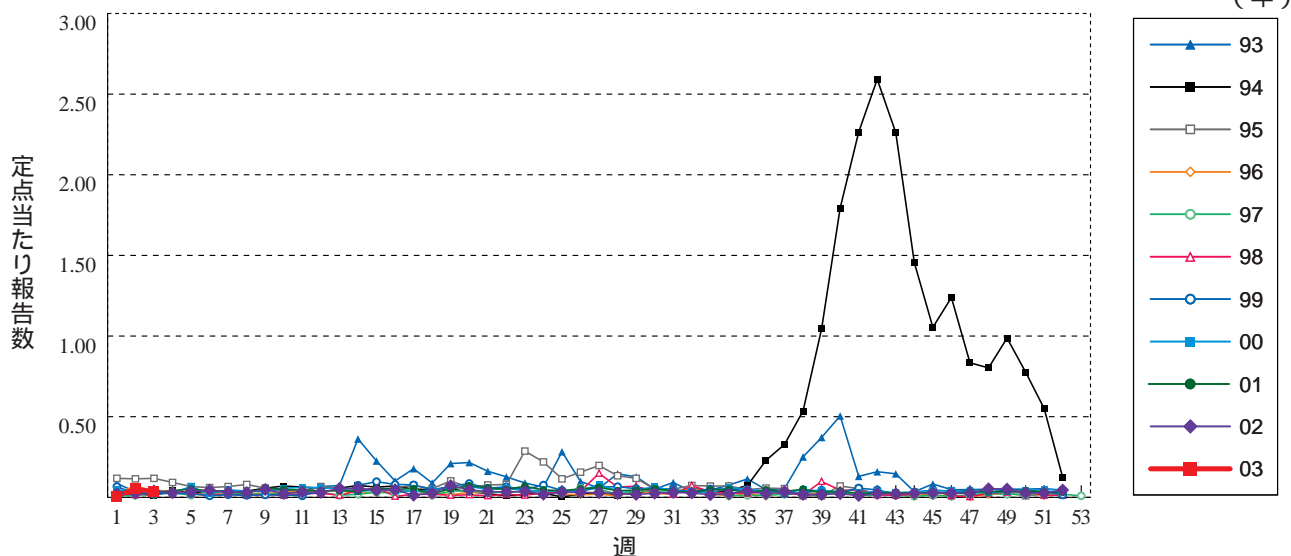
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



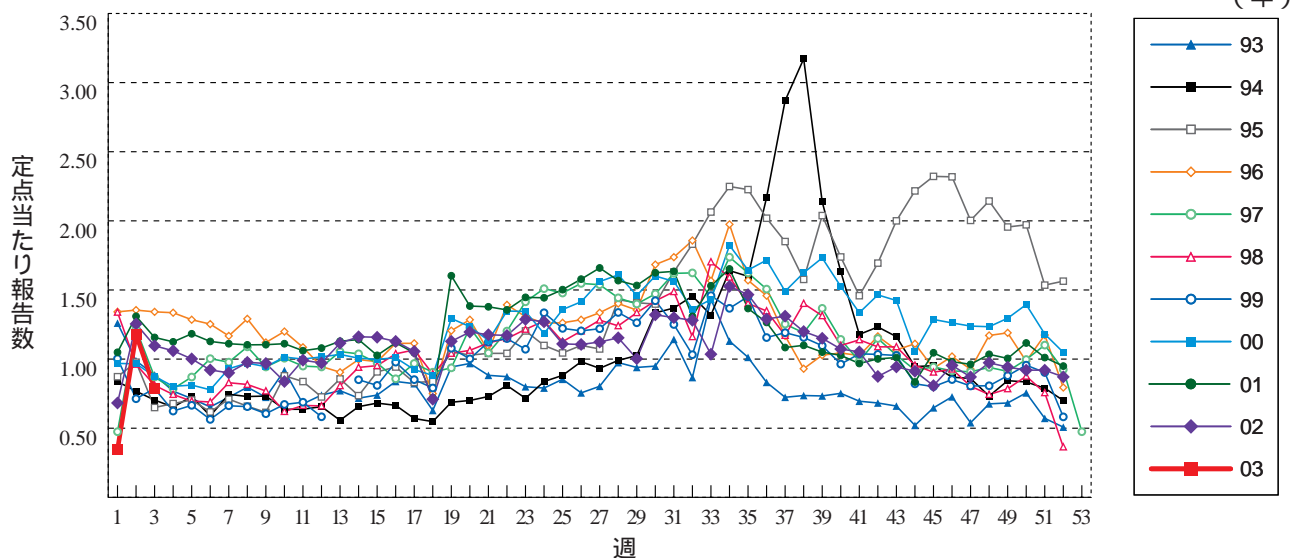
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

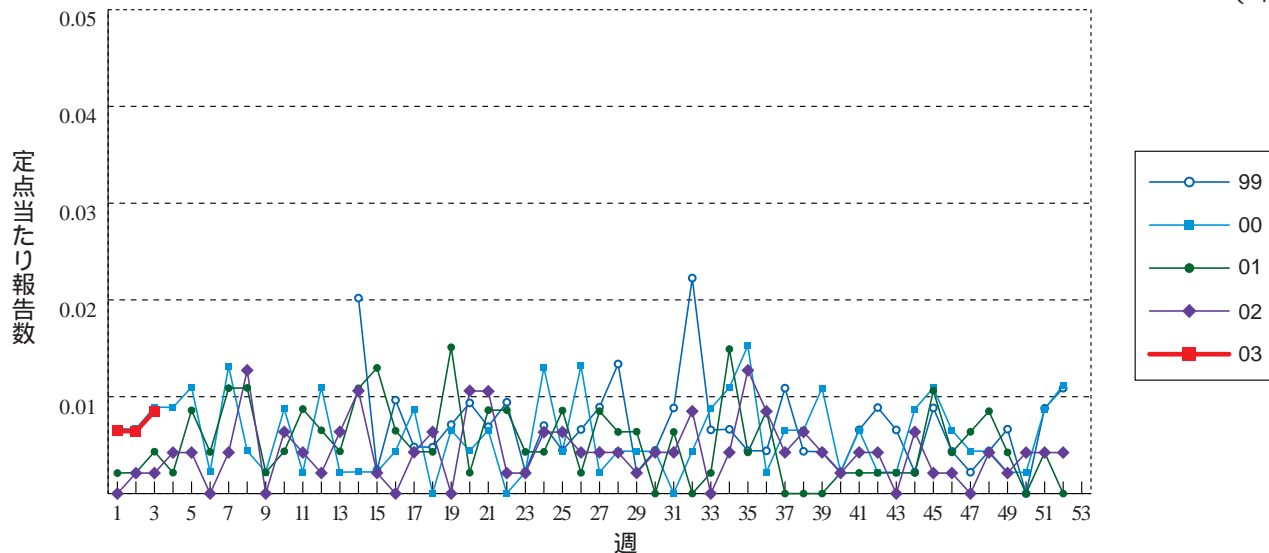


流行性角結膜炎



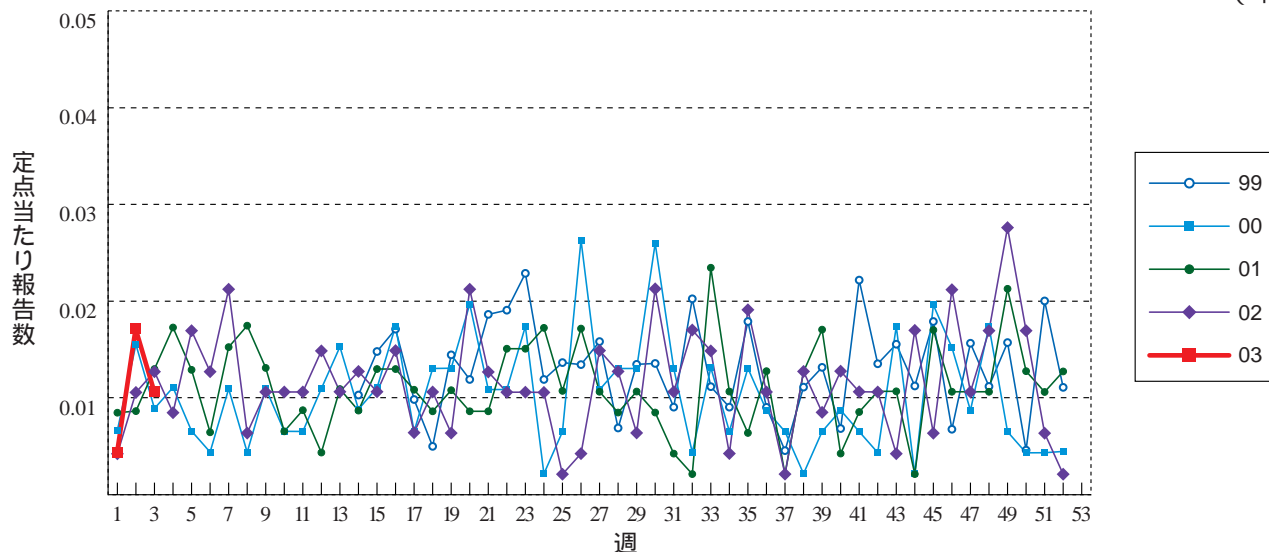
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



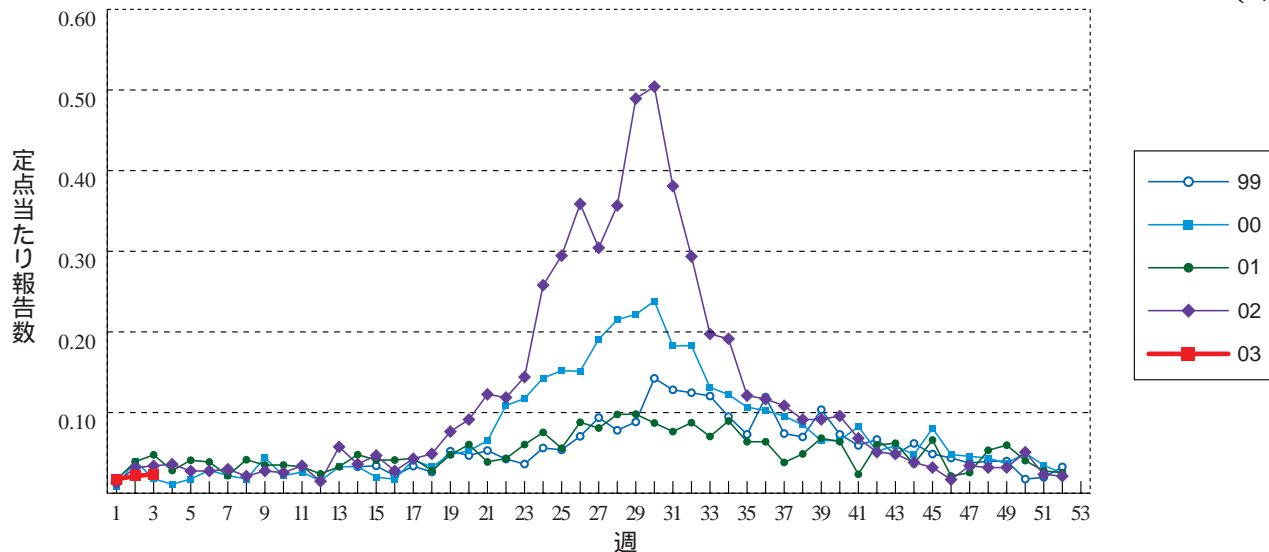
細菌性髄膜炎

(年)



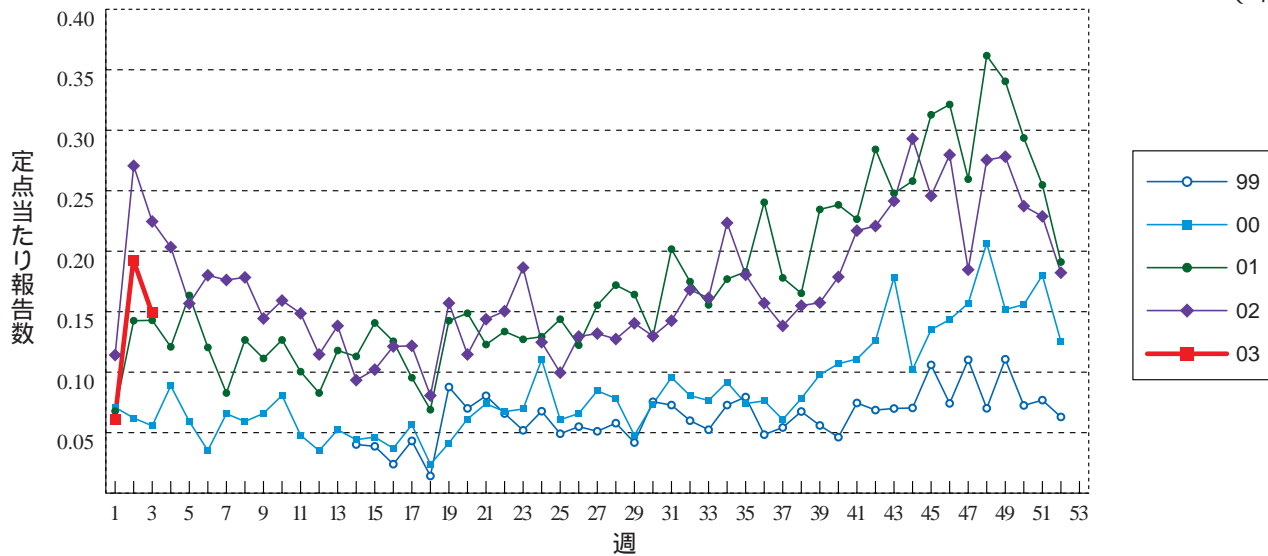
無菌性髄膜炎

(年)



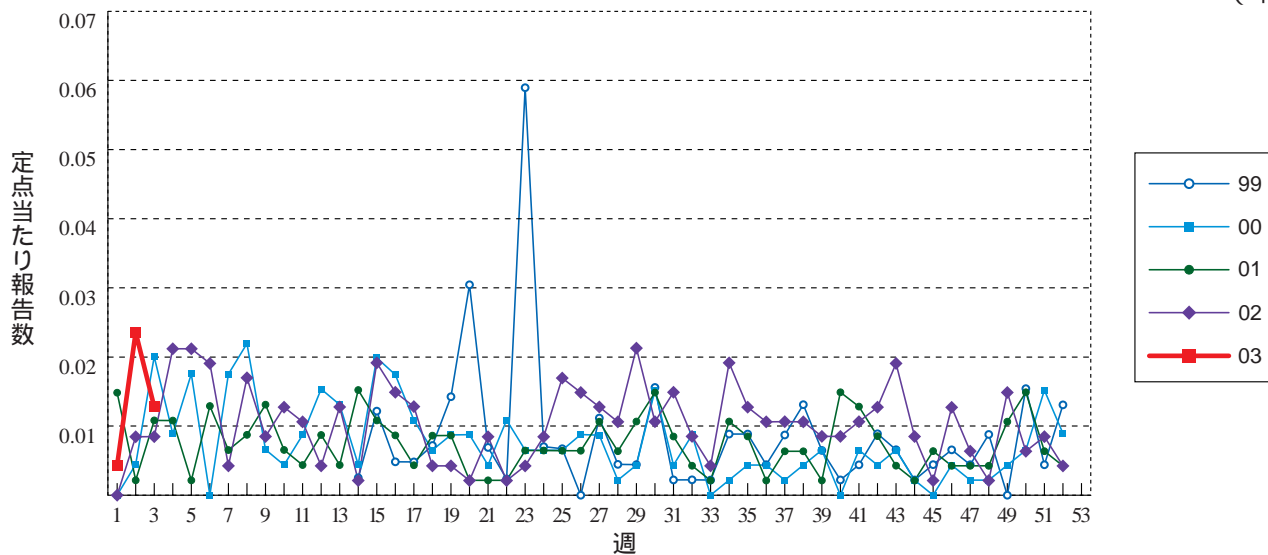
マイコプラズマ肺炎

(年)



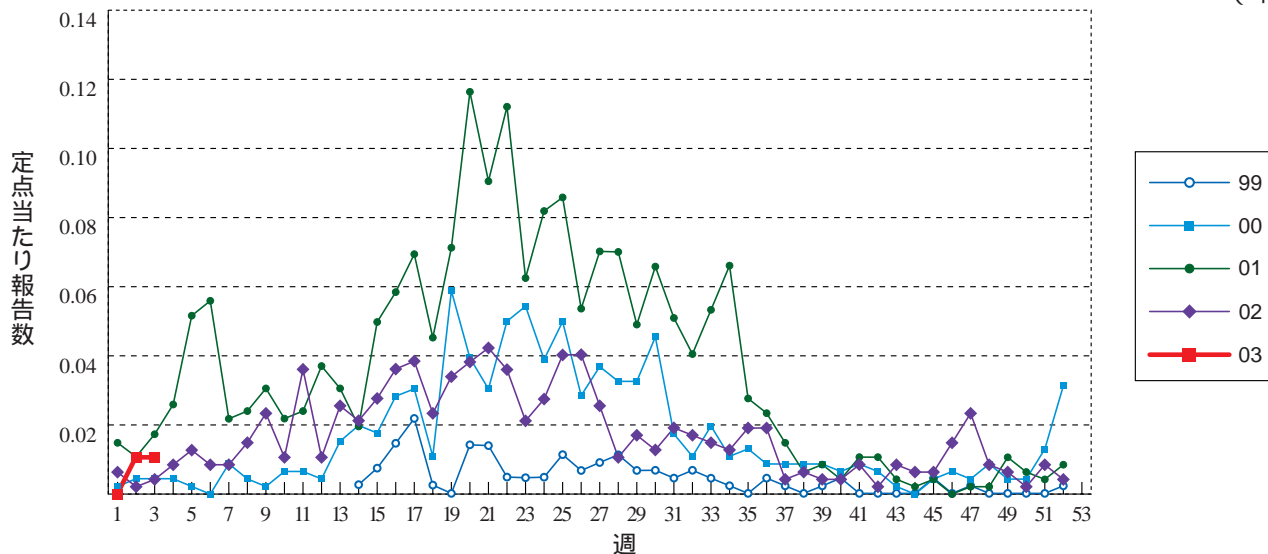
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

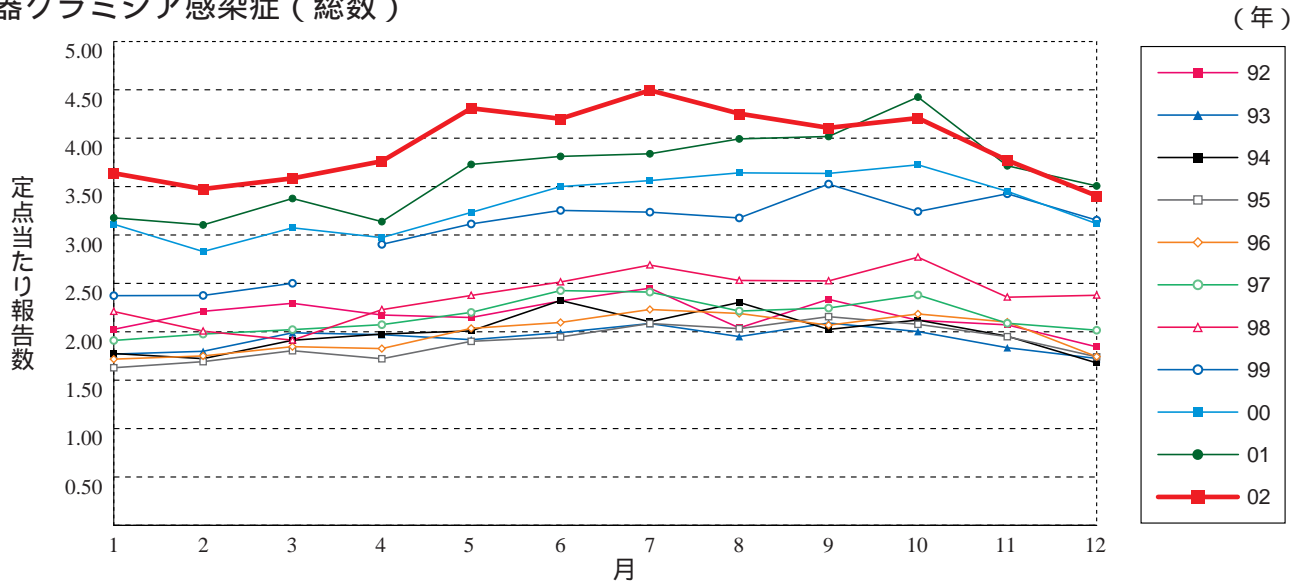




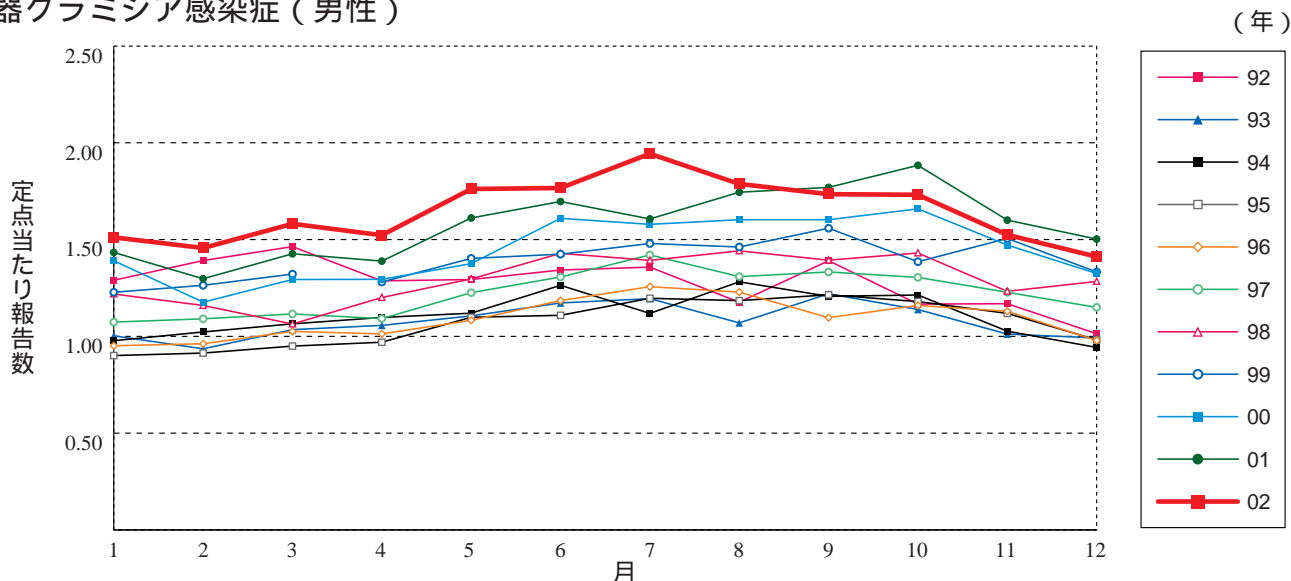
グラフ総覧(12月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

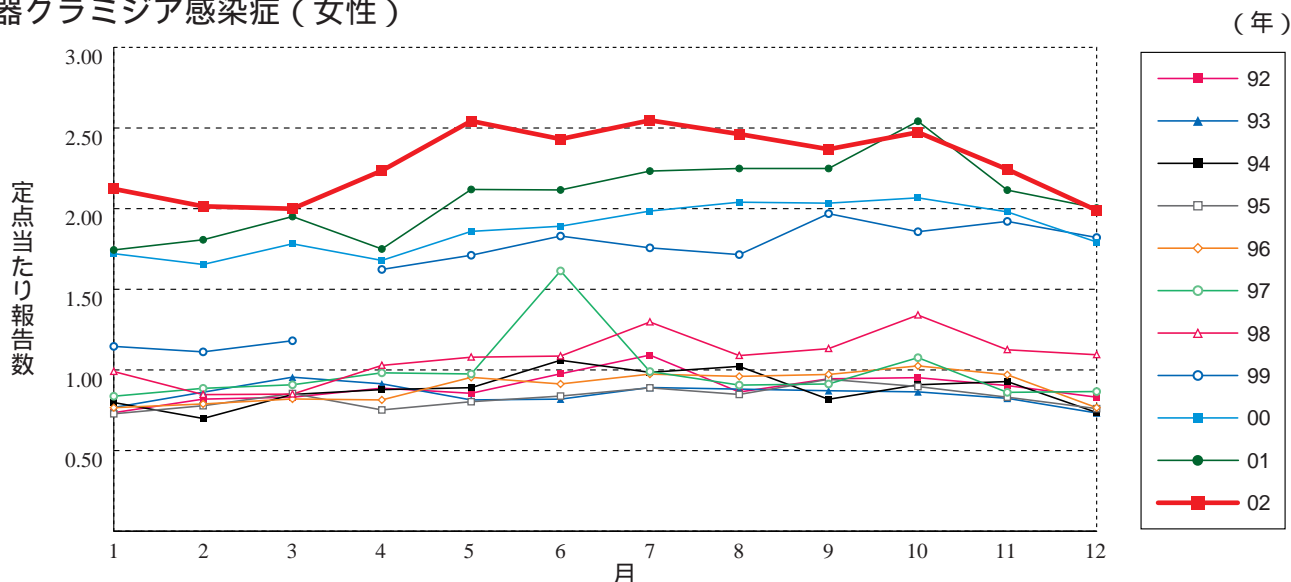
性器クラミジア感染症(総数)



性器クラミジア感染症(男性)

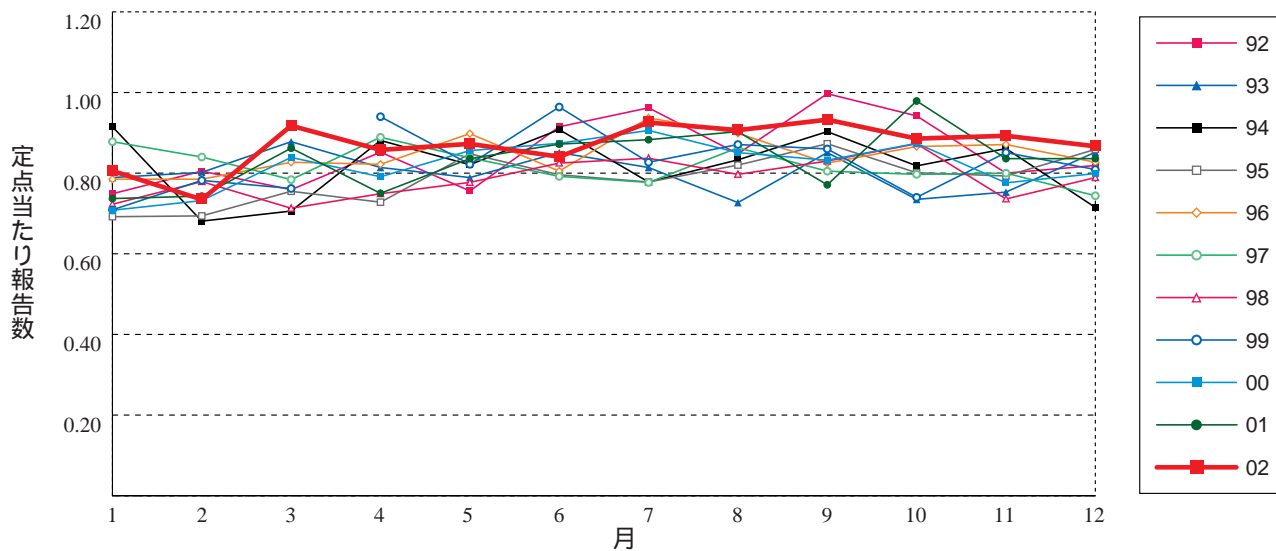


性器クラミジア感染症(女性)



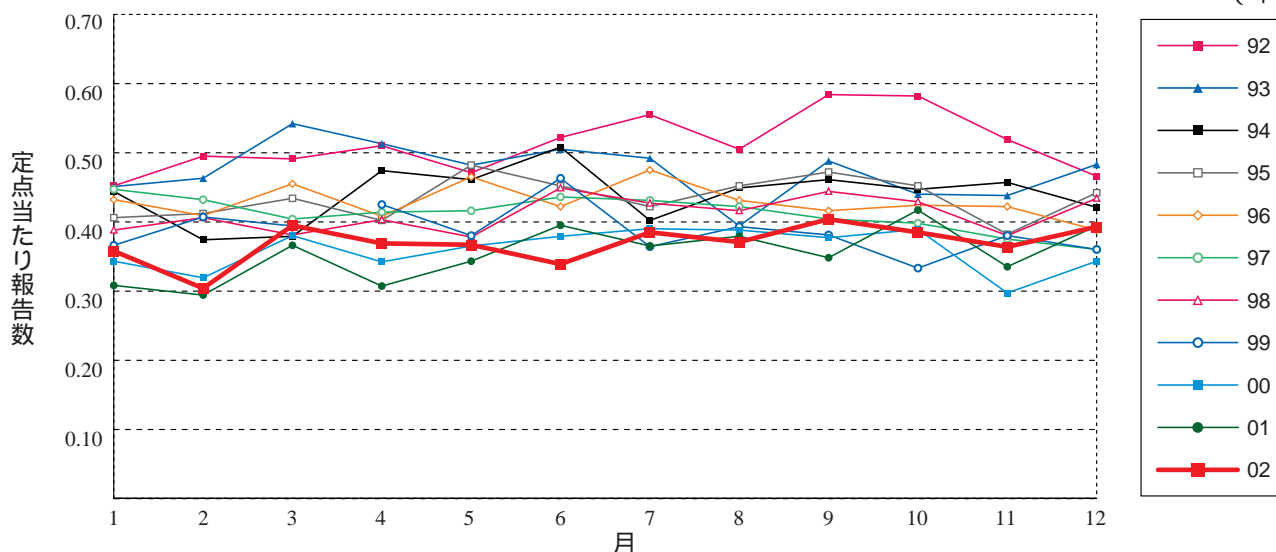
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）

（年）



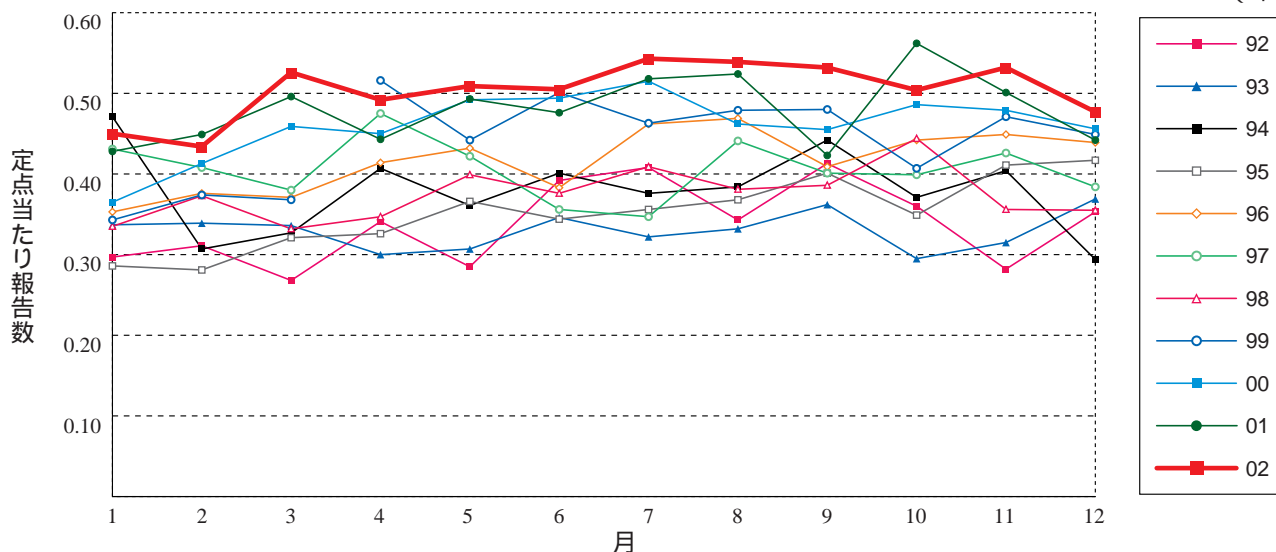
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）

（年）

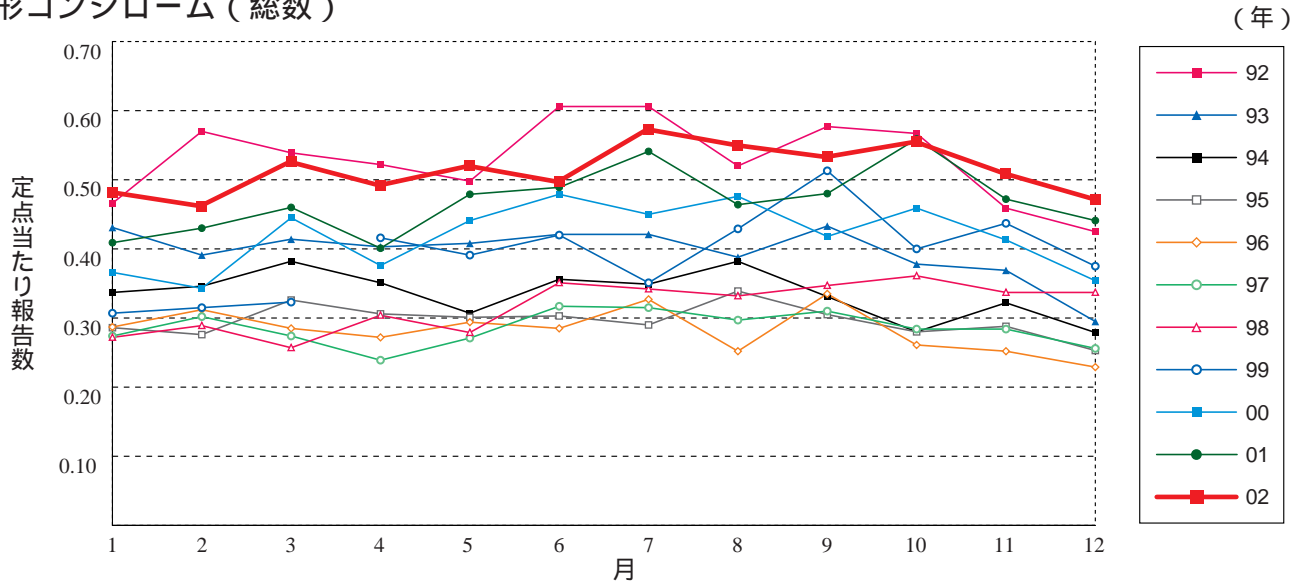


性器ヘルペスウイルス感染症（女性）

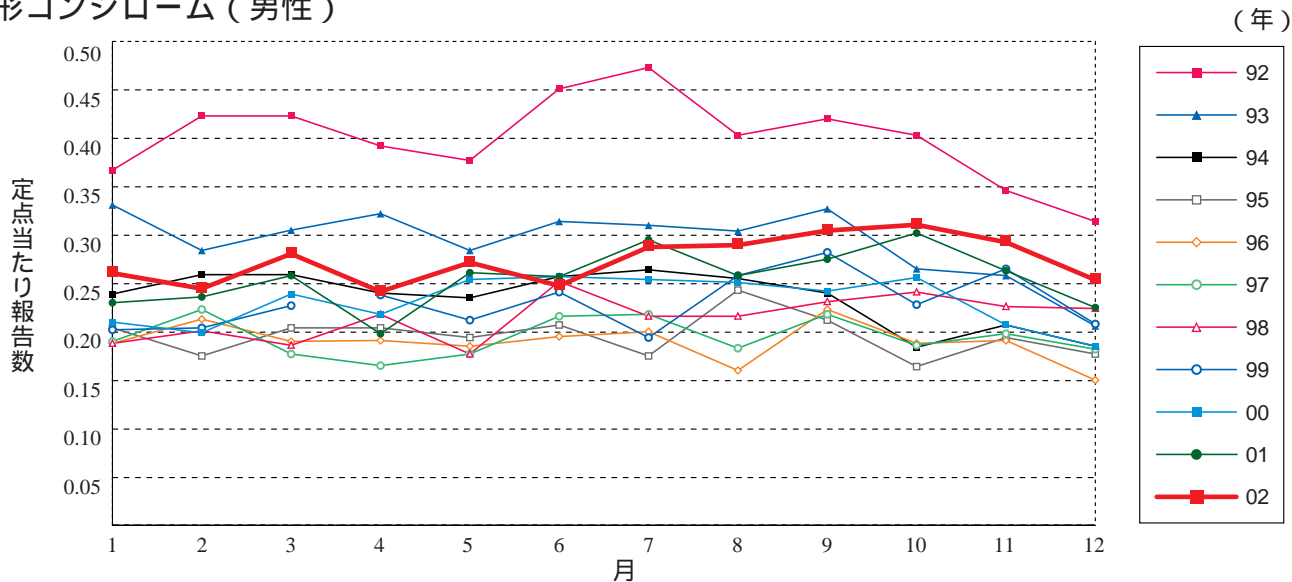
（年）



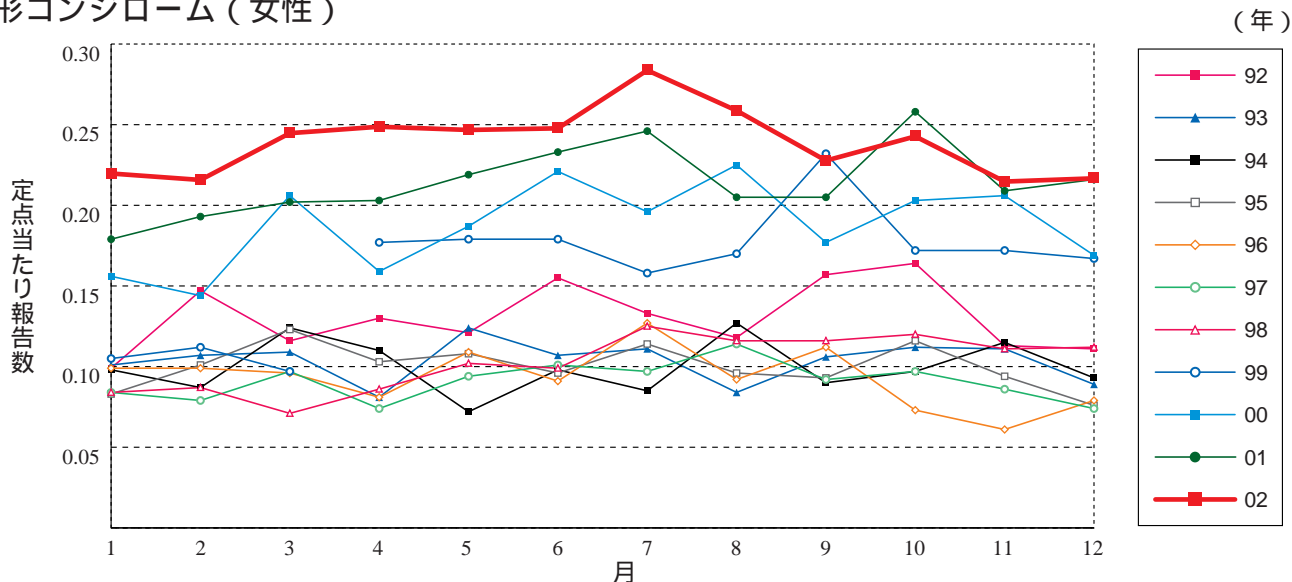
尖形コンジローム (総数)



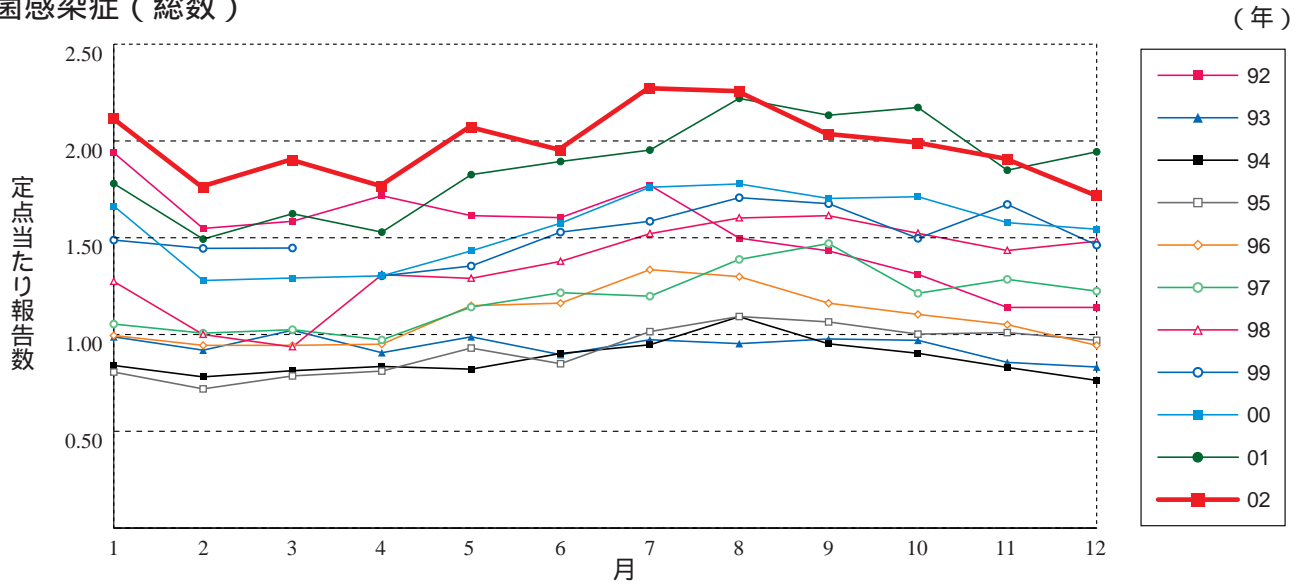
尖形コンジローム (男性)



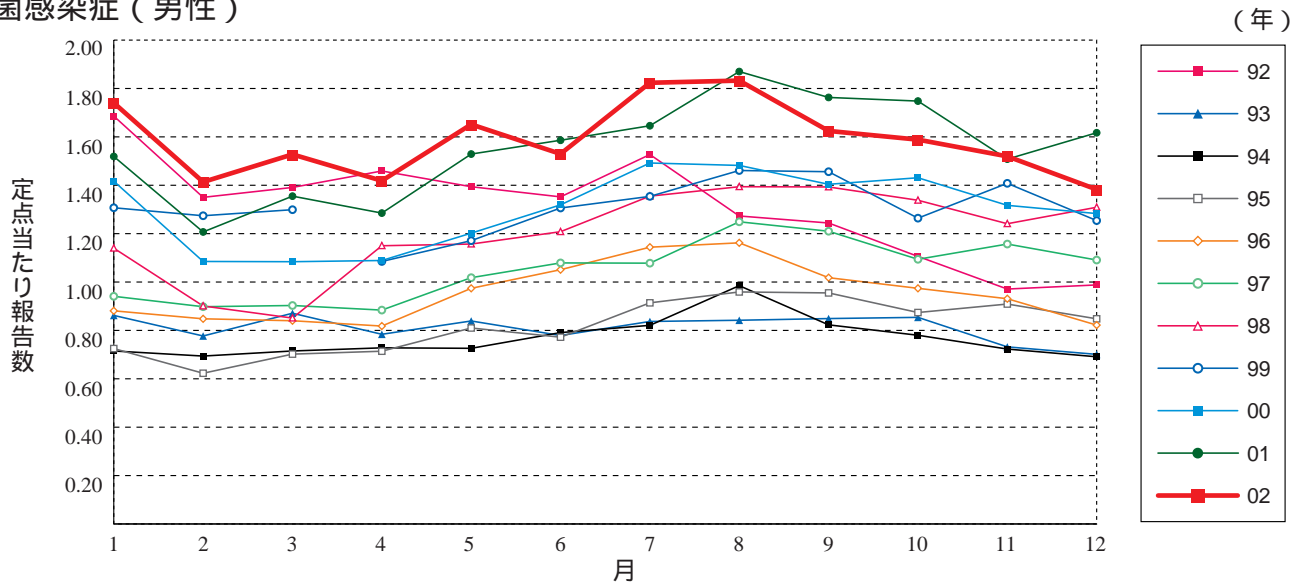
尖形コンジローム (女性)



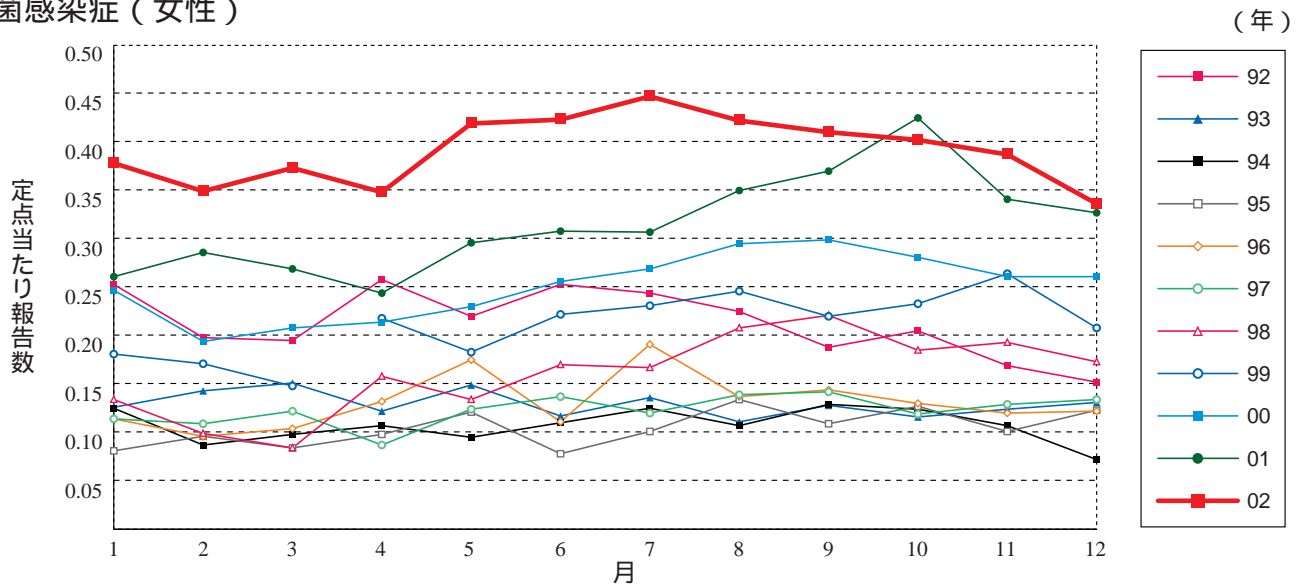
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

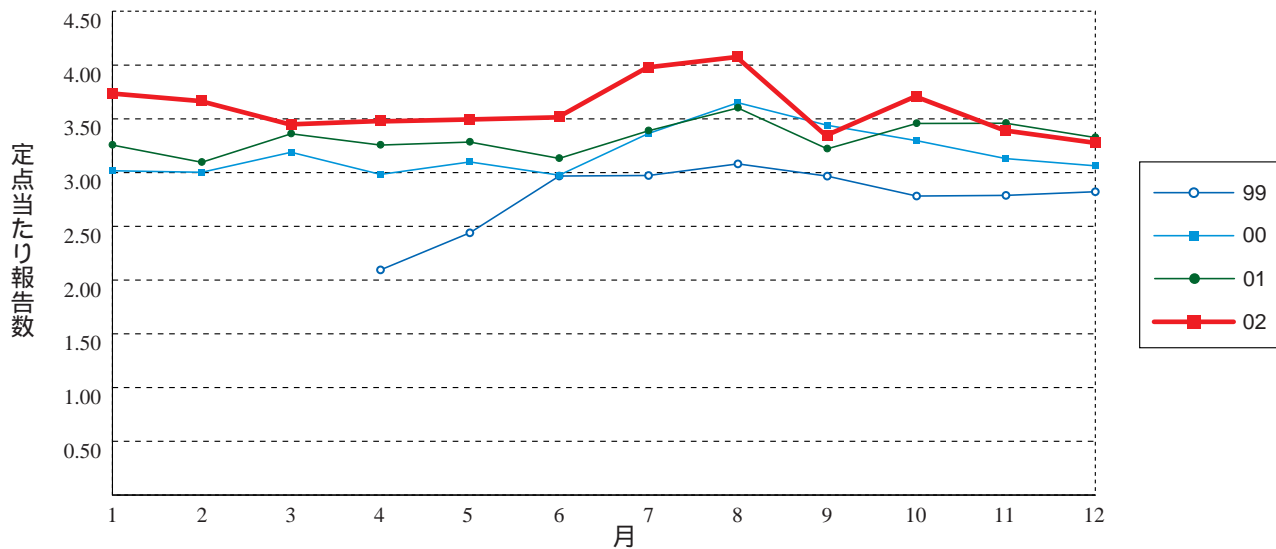


淋菌感染症 (女性)



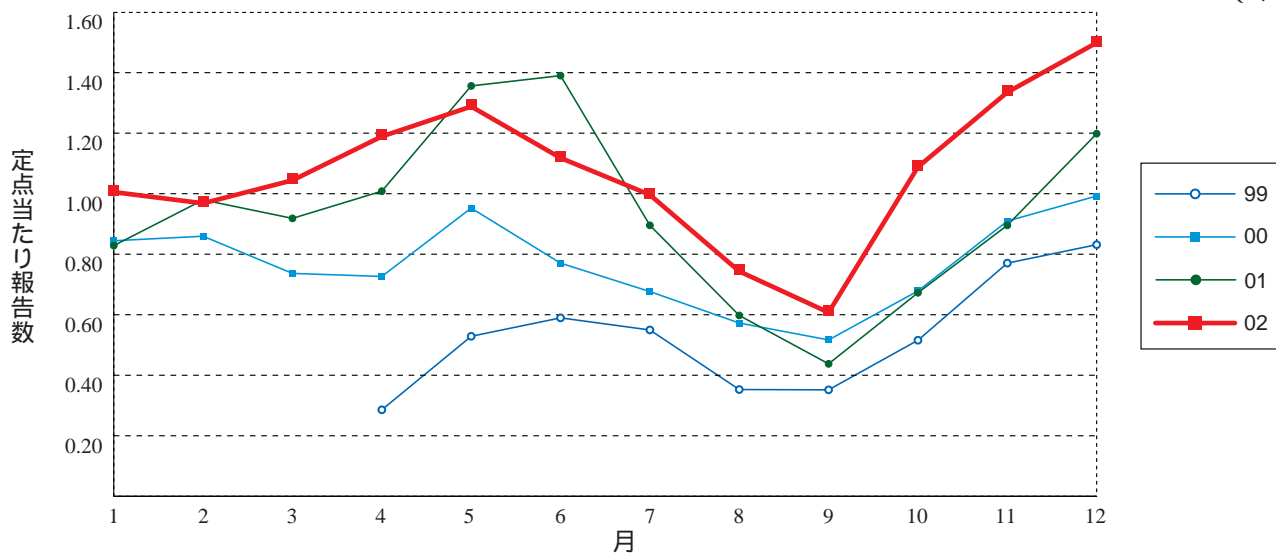
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



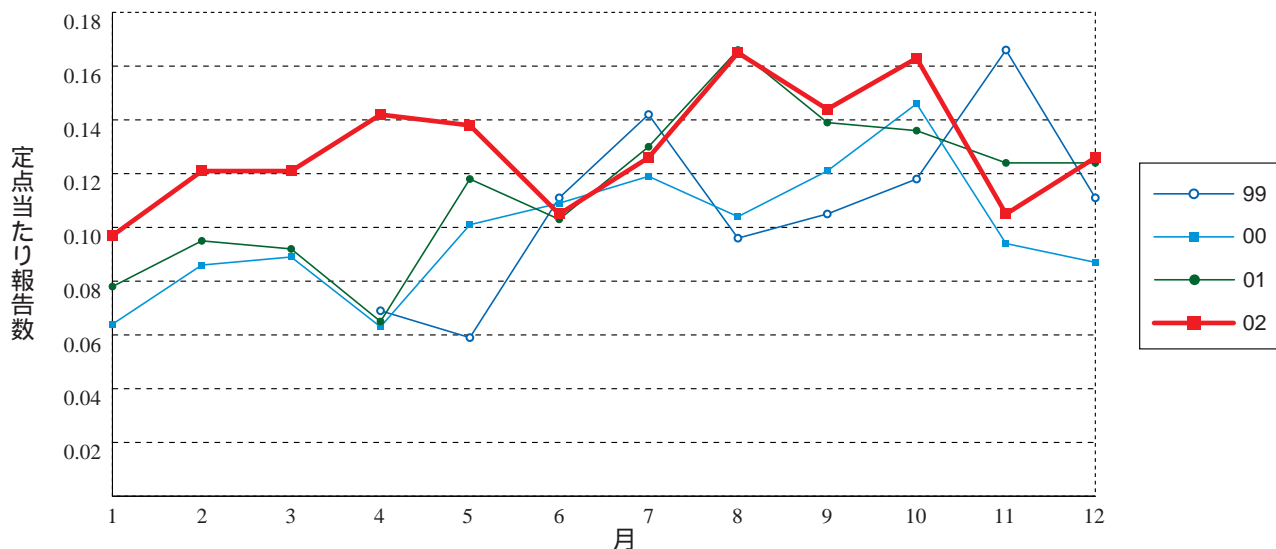
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





12月のデータ

注) 1月10日集計分

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成14年12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3133	3.40	799	0.87	435	0.47	1581	1.72	1532	3.28	703	1.51	59	0.13
北海道	221	5.26	51	1.21	37	0.88	105	2.50	46	2.00	6	0.26	2	0.09
青森県	41	3.15	14	1.08	9	0.69	19	1.46	9	1.50	-	-	-	-
岩手県	52	4.00	15	1.15	7	0.54	34	2.62	49	2.45	2	0.10	2	0.10
宮城県	73	4.06	8	0.44	23	1.28	33	1.83	44	3.67	15	1.25	1	0.08
秋田県	18	1.29	-	-	-	-	12	0.86	23	2.88	6	0.75	1	0.13
山形県	27	2.70	5	0.50	-	-	13	1.30	56	5.60	23	2.30	1	0.10
福島県	40	2.50	5	0.31	4	0.25	29	1.81	3	0.43	1	0.14	-	-
茨城県	80	3.81	14	0.67	6	0.29	40	1.90	17	1.55	-	-	1	0.09
栃木県	77	4.81	6	0.38	8	0.50	47	2.94	19	2.71	6	0.86	-	-
群馬県	158	6.32	16	0.64	8	0.32	26	1.04	28	2.80	7	0.70	2	0.20
埼玉県	191	3.75	27	0.53	16	0.31	70	1.37	20	2.22	14	1.56	7	0.78
千葉県	93	2.38	32	0.82	26	0.67	43	1.10	45	5.00	72	8.00	2	0.22
東京都	172	4.20	59	1.44	33	0.80	94	2.29	132	5.28	70	2.80	10	0.40
神奈川県	143	2.38	40	0.67	12	0.20	69	1.15	26	2.36	30	2.73	-	-
新潟県	36	1.80	12	0.60	4	0.20	23	1.15	46	3.83	20	1.67	-	-
富山県	22	3.14	3	0.43	4	0.57	17	2.43	35	7.00	29	5.80	-	-
石川県	22	2.20	5	0.50	-	-	13	1.30	4	0.80	2	0.40	-	-
福井県	14	2.80	4	0.80	1	0.20	6	1.20	25	4.17	6	1.00	-	-
山梨県	23	3.83	1	0.17	-	-	1	0.17	18	1.80	25	2.50	-	-
長野県	57	3.56	13	0.81	11	0.69	14	0.88	36	3.27	12	1.09	-	-
岐阜県	29	1.93	7	0.47	6	0.40	20	1.33	14	2.80	3	0.60	-	-
静岡県	75	2.50	19	0.63	13	0.43	24	0.80	58	5.80	22	2.20	-	-
愛知県	176	3.45	37	0.73	29	0.57	135	2.65	63	4.85	-	-	-	-
三重県	18	1.38	8	0.62	1	0.08	7	0.54	33	4.13	1	0.13	-	-
滋賀県	8	0.89	3	0.33	1	0.11	3	0.33	36	6.00	-	-	1	0.17
京都府	33	1.50	13	0.59	4	0.18	8	0.36	7	1.00	1	0.14	-	-
大阪府	318	5.39	153	2.59	68	1.15	238	4.03	36	2.57	46	3.29	3	0.21
兵庫県	86	1.87	25	0.54	21	0.46	30	0.65	26	1.86	17	1.21	1	0.07
奈良県	23	2.56	3	0.33	-	-	15	1.67	30	5.00	16	2.67	-	-
和歌山県	7	0.88	9	1.13	2	0.25	4	0.50	44	4.00	3	0.27	-	-
鳥取県	9	1.80	-	-	-	-	3	0.60	20	4.00	1	0.20	-	-
島根県	11	1.83	2	0.33	-	-	7	1.17	30	3.75	28	3.50	-	-
岡山県	62	3.65	14	0.82	4	0.24	40	2.35	10	2.50	-	-	2	0.50
広島県	52	1.93	13	0.48	17	0.63	26	0.96	82	3.90	91	4.33	7	0.33
山口県	32	2.67	9	0.75	3	0.25	18	1.50	54	6.75	32	4.00	5	0.63
徳島県	6	1.00	2	0.33	1	0.17	-	-	6	0.86	-	-	-	-
香川県	25	2.78	5	0.56	2	0.22	7	0.78	31	6.20	5	1.00	1	0.20
愛媛県	34	3.09	4	0.36	1	0.09	15	1.36	16	2.67	1	0.17	1	0.17
高知県	6	1.00	-	-	-	-	2	0.33	59	7.38	22	2.75	-	-
福岡県	249	6.73	61	1.65	24	0.65	146	3.95	22	1.38	7	0.44	-	-
佐賀県	20	2.86	7	1.00	-	-	8	1.14	23	3.83	8	1.33	3	0.50
長崎県	18	1.80	20	2.00	2	0.20	5	0.50	2	0.18	1	0.09	-	-
熊本県	78	5.57	15	1.07	7	0.50	19	1.36	53	3.53	6	0.40	1	0.07
大分県	14	1.40	17	1.70	3	0.30	7	0.70	21	2.10	36	3.60	1	0.10
宮崎県	46	4.18	5	0.45	3	0.27	29	2.64	30	4.29	3	0.43	3	0.43
鹿児島県	84	5.25	18	1.13	10	0.63	50	3.13	16	1.33	-	-	1	0.08
沖縄県	54	4.50	-	-	4	0.33	7	0.58	29	4.14	7	1.00	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成14年12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1301	1.41	361	0.39	235	0.26	1271	1.38	980	2.10	403	0.86	39	0.08
北海道	49	1.17	14	0.33	19	0.45	54	1.29	32	1.39	4	0.17	2	0.09
青森県	14	1.08	9	0.69	6	0.46	13	1.00	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	22	1.69	9	0.69	3	0.23	28	2.15	30	1.50	1	0.05	-	-
宮城県	23	1.28	1	0.06	12	0.67	25	1.39	27	2.25	13	1.08	-	-
秋田県	4	0.29	-	-	-	-	8	0.57	17	2.13	3	0.38	1	0.13
山形県	13	1.30	3	0.30	-	-	12	1.20	32	3.20	12	1.20	1	0.10
福島県	21	1.31	3	0.19	1	0.06	28	1.75	2	0.29	1	0.14	-	-
茨城県	44	2.10	10	0.48	4	0.19	36	1.71	11	1.00	-	-	-	-
栃木県	38	2.38	5	0.31	7	0.44	46	2.88	12	1.71	2	0.29	-	-
群馬県	96	3.84	4	0.16	4	0.16	22	0.88	17	1.70	5	0.50	-	-
埼玉県	45	0.88	7	0.14	9	0.18	56	1.10	10	1.11	6	0.67	5	0.56
千葉県	48	1.23	24	0.62	19	0.49	38	0.97	23	2.56	39	4.33	2	0.22
東京都	72	1.76	22	0.54	19	0.46	74	1.80	84	3.36	39	1.56	7	0.28
神奈川県	76	1.27	22	0.37	8	0.13	65	1.08	17	1.55	16	1.45	-	-
新潟県	19	0.95	9	0.45	3	0.15	21	1.05	31	2.58	14	1.17	-	-
富山県	14	2.00	2	0.29	1	0.14	16	2.29	27	5.40	19	3.80	-	-
石川県	14	1.40	3	0.30	-	-	13	1.30	3	0.60	1	0.20	-	-
福井県	5	1.00	4	0.80	1	0.20	6	1.20	19	3.17	4	0.67	-	-
山梨県	6	1.00	-	-	-	-	1	0.17	11	1.10	12	1.20	-	-
長野県	12	0.75	6	0.38	2	0.13	11	0.69	25	2.27	8	0.73	-	-
岐阜県	12	0.80	3	0.20	4	0.27	18	1.20	5	1.00	1	0.20	-	-
静岡県	23	0.77	6	0.20	6	0.20	18	0.60	36	3.60	16	1.60	-	-
愛知県	99	1.94	29	0.57	19	0.37	130	2.55	34	2.62	-	-	-	-
三重県	6	0.46	4	0.31	-	-	6	0.46	25	3.13	1	0.13	-	-
滋賀県	1	0.11	-	-	1	0.11	2	0.22	25	4.17	-	-	1	0.17
京都府	7	0.32	11	0.50	3	0.14	3	0.14	4	0.57	1	0.14	-	-
大阪府	139	2.36	71	1.20	40	0.68	169	2.86	26	1.86	25	1.79	-	-
兵庫県	29	0.63	11	0.24	15	0.33	28	0.61	12	0.86	10	0.71	-	-
奈良県	15	1.67	-	-	-	-	15	1.67	17	2.83	11	1.83	-	-
和歌山県	4	0.50	3	0.38	2	0.25	4	0.50	31	2.82	-	-	-	-
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-	3	0.60	14	2.80	1	0.20	-	-
島根県	4	0.67	-	-	-	-	7	1.17	20	2.50	14	1.75	-	-
岡山県	18	1.06	2	0.12	1	0.06	29	1.71	7	1.75	-	-	2	0.50
広島県	14	0.52	6	0.22	3	0.11	20	0.74	58	2.76	51	2.43	5	0.24
山口県	10	0.83	-	-	2	0.17	15	1.25	39	4.88	17	2.13	5	0.63
徳島県	-	-	1	0.17	-	-	-	-	5	0.71	-	-	-	-
香川県	12	1.33	2	0.22	2	0.22	4	0.44	21	4.20	3	0.60	1	0.20
愛媛県	13	1.18	1	0.09	1	0.09	14	1.27	9	1.50	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	36	4.50	12	1.50	-	-
福岡県	120	3.24	24	0.65	8	0.22	117	3.16	10	0.63	5	0.31	-	-
佐賀県	15	2.14	1	0.14	-	-	6	0.86	15	2.50	7	1.17	3	0.50
長崎県	4	0.40	6	0.60	-	-	3	0.30	2	0.18	-	-	-	-
熊本県	27	1.93	5	0.36	3	0.21	13	0.93	31	2.07	5	0.33	-	-
大分県	5	0.50	7	0.70	2	0.20	7	0.70	16	1.60	19	1.90	1	0.10
宮崎県	19	1.73	1	0.09	-	-	22	2.00	19	2.71	2	0.29	2	0.29
鹿児島県	61	3.81	10	0.63	5	0.31	43	2.69	12	1.00	-	-	1	0.08
沖縄県	3	0.25	-	-	-	-	1	0.08	16	2.29	3	0.43	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成14年12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1832	1.99	438	0.48	200	0.22	310	0.34	552	1.18	300	0.64	20	0.04
北海道	172	4.10	37	0.88	18	0.43	51	1.21	14	0.61	2	0.09	-	-
青森県	27	2.08	5	0.38	3	0.23	6	0.46	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	30	2.31	6	0.46	4	0.31	6	0.46	19	0.95	1	0.05	2	0.10
宮城県	50	2.78	7	0.39	11	0.61	8	0.44	17	1.42	2	0.17	1	0.08
秋田県	14	1.00	-	-	-	-	4	0.29	6	0.75	3	0.38	-	-
山形県	14	1.40	2	0.20	-	-	1	0.10	24	2.40	11	1.10	-	-
福島県	19	1.19	2	0.13	3	0.19	1	0.06	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	36	1.71	4	0.19	2	0.10	4	0.19	6	0.55	-	-	1	0.09
栃木県	39	2.44	1	0.06	1	0.06	1	0.06	7	1.00	4	0.57	-	-
群馬県	62	2.48	12	0.48	4	0.16	4	0.16	11	1.10	2	0.20	2	0.20
埼玉県	146	2.86	20	0.39	7	0.14	14	0.27	10	1.11	8	0.89	2	0.22
千葉県	45	1.15	8	0.21	7	0.18	5	0.13	22	2.44	33	3.67	-	-
東京都	100	2.44	37	0.90	14	0.34	20	0.49	48	1.92	31	1.24	3	0.12
神奈川県	67	1.12	18	0.30	4	0.07	4	0.07	9	0.82	14	1.27	-	-
新潟県	17	0.85	3	0.15	1	0.05	2	0.10	15	1.25	6	0.50	-	-
富山県	8	1.14	1	0.14	3	0.43	1	0.14	8	1.60	10	2.00	-	-
石川県	8	0.80	2	0.20	-	-	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-
福井県	9	1.80	-	-	-	-	-	-	6	1.00	2	0.33	-	-
山梨県	17	2.83	1	0.17	-	-	-	-	7	0.70	13	1.30	-	-
長野県	45	2.81	7	0.44	9	0.56	3	0.19	11	1.00	4	0.36	-	-
岐阜県	17	1.13	4	0.27	2	0.13	2	0.13	9	1.80	2	0.40	-	-
静岡県	52	1.73	13	0.43	7	0.23	6	0.20	22	2.20	6	0.60	-	-
愛知県	77	1.51	8	0.16	10	0.20	5	0.10	29	2.23	-	-	-	-
三重県	12	0.92	4	0.31	1	0.08	1	0.08	8	1.00	-	-	-	-
滋賀県	7	0.78	3	0.33	-	-	1	0.11	11	1.83	-	-	-	-
京都府	26	1.18	2	0.09	1	0.05	5	0.23	3	0.43	-	-	-	-
大阪府	179	3.03	82	1.39	28	0.47	69	1.17	10	0.71	21	1.50	3	0.21
兵庫県	57	1.24	14	0.30	6	0.13	2	0.04	14	1.00	7	0.50	1	0.07
奈良県	8	0.89	3	0.33	-	-	-	-	13	2.17	5	0.83	-	-
和歌山県	3	0.38	6	0.75	-	-	-	-	13	1.18	3	0.27	-	-
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-	-	-	6	1.20	-	-	-	-
島根県	7	1.17	2	0.33	-	-	-	-	10	1.25	14	1.75	-	-
岡山県	44	2.59	12	0.71	3	0.18	11	0.65	3	0.75	-	-	-	-
広島県	38	1.41	7	0.26	14	0.52	6	0.22	24	1.14	40	1.90	2	0.10
山口県	22	1.83	9	0.75	1	0.08	3	0.25	15	1.88	15	1.88	-	-
徳島県	6	1.00	1	0.17	1	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-
香川県	13	1.44	3	0.33	-	-	3	0.33	10	2.00	2	0.40	-	-
愛媛県	21	1.91	3	0.27	-	-	1	0.09	7	1.17	1	0.17	1	0.17
高知県	5	0.83	-	-	-	-	1	0.17	23	2.88	10	1.25	-	-
福岡県	129	3.49	37	1.00	16	0.43	29	0.78	12	0.75	2	0.13	-	-
佐賀県	5	0.71	6	0.86	-	-	2	0.29	8	1.33	1	0.17	-	-
長崎県	14	1.40	14	1.40	2	0.20	2	0.20	-	-	1	0.09	-	-
熊本県	51	3.64	10	0.71	4	0.29	6	0.43	22	1.47	1	0.07	1	0.07
大分県	9	0.90	10	1.00	1	0.10	-	-	5	0.50	17	1.70	-	-
宮崎県	27	2.45	4	0.36	3	0.27	7	0.64	11	1.57	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	23	1.44	8	0.50	5	0.31	7	0.44	4	0.33	-	-	-	-
沖縄県	51	4.25	-	-	4	0.33	6	0.50	13	1.86	4	0.57	-	-

注)1月22日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成14年12月

	結 核
	報告数
総 数	2551
北海道	90
青森県	26
岩手県	28
宮城県	33
秋田県	17
山形県	13
福島県	23
茨城県	44
栃木県	41
群馬県	24
埼玉県	107
千葉県	116
東京都	294
神奈川県	131
新潟県	53
富山県	18
石川県	23
福井県	18
山梨県	8
長野県	25
岐阜県	47
静岡県	84
愛知県	162
三重県	34
滋賀県	22
京都府	74
大阪府	318
兵庫県	105
奈良県	37
和歌山県	24
鳥取県	9
島根県	15
岡山県	42
広島県	27
山口県	23
徳島県	16
香川県	26
愛媛県	29
高知県	19
福岡県	106
佐賀県	12
長崎県	38
熊本県	33
大分県	27
宮崎県	21
鹿児島県	41
沖縄県	28



3週のデータ

注)表中の報告数は1月23日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年3週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	28	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年3週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	2	18	7	13	-	-	-	-	-	1	-	-	6	25
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
東京都	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年3週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	-	1	7	1	6	7	17	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	8	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年3週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	-	3	11	-	1	-	-	-	-	-	-	3	8
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年3週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	2	4
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年3週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年3週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	137389	29.15	187	0.06	2764	0.91	20005	6.59	5379	1.77	315	0.10	757	0.25	2133	0.70	13	0.00
北海道	3091	13.44	1	0.01	124	0.86	298	2.07	224	1.56	14	0.10	197	1.37	92	0.64	-	-
青森県	478	7.35	-	-	38	0.90	160	3.81	57	1.36	4	0.10	11	0.26	25	0.60	-	-
岩手県	579	9.49	1	0.03	15	0.41	165	4.46	58	1.57	-	-	20	0.54	24	0.65	-	-
宮城県	721	7.92	2	0.03	114	1.93	828	14.03	145	2.46	7	0.12	27	0.46	49	0.83	-	-
秋田県	579	10.53	31	0.89	11	0.31	179	5.11	76	2.17	1	0.03	2	0.06	17	0.49	-	-
山形県	414	8.63	-	-	64	2.13	209	6.97	56	1.87	12	0.40	6	0.20	24	0.80	-	-
福島県	963	12.04	-	-	54	1.13	432	9.00	65	1.35	6	0.13	17	0.35	45	0.94	-	-
茨城県	1860	15.76	1	0.01	41	0.55	387	5.23	98	1.32	1	0.01	11	0.15	25	0.34	-	-
栃木県	1180	16.86	1	0.02	40	0.87	327	7.11	71	1.54	5	0.11	2	0.04	29	0.63	1	0.02
群馬県	1292	12.92	6	0.10	62	1.00	516	8.32	71	1.15	2	0.03	14	0.23	40	0.65	-	-
埼玉県	6334	25.04	2	0.01	234	1.50	1397	8.96	257	1.65	5	0.03	14	0.09	113	0.72	1	0.01
千葉県	5207	25.28	16	0.13	192	1.50	1171	9.15	162	1.27	11	0.09	28	0.22	80	0.63	-	-
東京都	2943	16.53	11	0.08	61	0.43	797	5.61	132	0.93	6	0.04	33	0.23	58	0.41	-	-
神奈川県	7536	22.30	5	0.02	147	0.71	1490	7.20	312	1.51	8	0.04	35	0.17	188	0.91	1	0.00
新潟県	1865	18.84	-	-	99	1.65	337	5.62	102	1.70	7	0.12	40	0.67	57	0.95	-	-
富山県	1433	29.85	2	0.07	75	2.59	203	7.00	46	1.59	15	0.52	11	0.38	23	0.79	-	-
石川県	2233	46.52	3	0.10	38	1.31	286	9.86	49	1.69	-	-	6	0.21	25	0.86	1	0.03
福井県	1553	48.53	3	0.14	42	1.91	191	8.68	45	2.05	1	0.05	4	0.18	16	0.73	-	-
山梨県	847	20.66	-	-	20	0.80	109	4.36	12	0.48	-	-	2	0.08	6	0.24	2	0.08
長野県	2359	27.11	1	0.02	88	1.60	359	6.53	124	2.25	2	0.04	29	0.53	48	0.87	1	0.02
岐阜県	2465	33.31	-	-	21	0.45	224	4.77	113	2.40	13	0.28	12	0.26	48	1.02	-	-
静岡県	4978	36.34	2	0.02	56	0.65	686	7.98	248	2.88	9	0.10	25	0.29	75	0.87	-	-
愛知県	8898	46.59	12	0.07	141	0.77	819	4.50	386	2.12	14	0.08	39	0.21	120	0.66	1	0.01
三重県	2321	31.79	-	-	52	1.16	507	11.27	104	2.31	3	0.07	16	0.36	47	1.04	-	-
滋賀県	1748	32.98	-	-	14	0.44	125	3.91	48	1.50	1	0.03	7	0.22	17	0.53	-	-
京都府	2388	18.95	2	0.03	59	0.78	371	4.88	96	1.26	6	0.08	4	0.05	35	0.46	1	0.01
大阪府	4618	15.19	31	0.16	94	0.48	731	3.75	267	1.37	15	0.08	20	0.10	92	0.47	1	0.01
兵庫県	6135	30.98	13	0.10	64	0.50	880	6.88	267	2.09	9	0.07	22	0.17	96	0.75	-	-
奈良県	1492	27.13	-	-	13	0.37	200	5.71	76	2.17	1	0.03	8	0.23	20	0.57	1	0.03
和歌山県	1888	37.76	-	-	25	0.81	211	6.81	85	2.74	-	-	3	0.10	14	0.45	-	-
鳥取県	853	29.41	-	-	22	1.16	150	7.89	22	1.16	-	-	9	0.47	18	0.95	-	-
島根県	1607	42.29	3	0.13	6	0.26	120	5.22	34	1.48	4	0.17	2	0.09	7	0.30	-	-
岡山県	3049	36.30	1	0.02	23	0.43	252	4.67	89	1.65	1	0.02	5	0.09	23	0.43	-	-
広島県	4191	35.22	8	0.11	30	0.40	720	9.60	98	1.31	18	0.24	10	0.13	46	0.61	-	-
山口県	4237	60.53	6	0.12	75	1.53	366	7.47	135	2.76	6	0.12	11	0.22	51	1.04	-	-
徳島県	1339	35.24	-	-	23	1.00	103	4.48	35	1.52	2	0.09	9	0.39	15	0.65	-	-
香川県	1766	34.63	-	-	21	0.66	167	5.22	40	1.25	4	0.13	-	-	20	0.63	-	-
愛媛県	1674	26.16	3	0.08	49	1.26	344	8.82	76	1.95	8	0.21	1	0.03	37	0.95	-	-
高知県	1738	35.47	1	0.03	27	0.87	119	3.84	83	2.68	10	0.32	10	0.32	20	0.65	-	-
福岡県	7912	39.96	7	0.06	134	1.12	1176	9.80	271	2.26	9	0.08	3	0.03	138	1.15	-	-
佐賀県	1991	51.05	3	0.13	30	1.30	142	6.17	47	2.04	3	0.13	2	0.09	31	1.35	-	-
長崎県	3749	53.56	-	-	36	0.82	212	4.82	86	1.95	22	0.50	1	0.02	17	0.39	1	0.02
熊本県	4477	55.27	5	0.10	60	1.22	388	7.92	85	1.73	-	-	9	0.18	34	0.69	1	0.02
大分県	3150	54.31	-	-	36	1.00	321	8.92	73	2.03	1	0.03	5	0.14	33	0.92	-	-
宮崎県	4156	69.27	-	-	57	1.54	455	12.30	98	2.65	29	0.78	6	0.16	48	1.30	-	-
鹿児島県	6335	64.64	4	0.07	31	0.52	339	5.65	135	2.25	13	0.22	5	0.08	40	0.67	-	-
沖縄県	4767	82.19	-	-	6	0.18	36	1.06	120	3.53	7	0.21	4	0.12	7	0.21	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年3週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	21	0.01	84	0.03	111	0.04	1640	0.54	22	0.03	499	0.79	4	0.01	5	0.01	11	0.02
北海道	-	-	2	0.01	1	0.01	114	0.79	1	0.03	17	0.59	-	-	-	-	2	0.09
青森県	-	-	4	0.10	4	0.10	55	1.31	-	-	14	1.27	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	2	0.05	81	2.19	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	1	0.02	4	0.07	63	1.07	2	0.18	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	71	2.03	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	16	0.53	-	-	4	0.50	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	0.02	12	0.25	32	0.67	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	3	0.04	19	0.26	1	0.06	27	1.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	0.02	32	0.70	-	-	21	1.75	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	84	1.35	-	-	28	2.00	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	3	0.02	17	0.11	53	0.34	1	0.03	20	0.56	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	4	0.03	7	0.05	8	0.06	52	0.41	3	0.09	23	0.70	-	-	1	0.08	-	-
東京都	1	0.01	2	0.01	4	0.03	30	0.21	-	-	9	0.64	1	0.04	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	7	0.03	5	0.02	66	0.32	-	-	28	0.67	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	1	0.02	50	0.83	-	-	10	1.11	-	-	1	0.08	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	6	0.21	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	6	0.21	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	3	0.14	-	-	3	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	10	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	-	-	1	0.02	13	0.24	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	28	0.60	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	0.01	34	0.40	-	-	8	0.40	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	0.01	3	0.02	78	0.43	1	0.03	14	0.40	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	9	0.20	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-	19	0.59	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	26	0.34	1	0.06	11	0.61	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	17	0.09	1	0.01	42	0.22	2	0.04	28	0.57	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	-	-	-	-	95	0.74	1	0.03	21	0.60	-	-	-	-	2	0.17
奈良県	-	-	-	-	-	-	20	0.57	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	27	0.87	-	-	-	-	1	0.09	1	0.09	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-	20	1.05	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	-	-	-	-	12	0.52	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	10	0.19	-	-	-	-	36	0.67	-	-	10	0.83	-	-	1	0.20	-	-
広島県	-	-	1	0.01	-	-	36	0.48	-	-	17	0.85	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	1	0.02	-	-	22	0.45	-	-	18	2.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	4	0.17	12	0.52	-	-	5	1.25	1	0.14	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	5	0.16	9	0.28	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	8	0.21	13	0.33	-	-	15	2.14	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	3	0.10	-	-	33	1.06	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.01	6	0.05	1	0.01	49	0.41	3	0.12	46	1.77	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	5	0.22	-	-	13	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	4	0.09	-	-	42	0.95	4	0.50	10	1.25	1	0.09	-	-	-	-
熊本県	-	-	3	0.06	-	-	5	0.10	-	-	9	1.00	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	1	0.03	-	-	15	0.42	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	6	0.16	21	0.57	43	1.16	-	-	8	2.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	2	0.03	30	0.50	-	-	9	1.50	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	2	0.06	16	0.47	1	0.10	10	1.00	-	-	-	-	2	0.29

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年3週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	70	0.15	6	0.01	5	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	1	0.08	1	0.08	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	5	0.50	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	3	0.43
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	0.22	1	0.11
千葉県	1	0.08	2	0.15	-	-
東京都	1	0.04	-	-	-	-
神奈川県	3	0.25	-	-	-	-
新潟県	9	0.75	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.25	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.33	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	1	0.20	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	2	0.25	-	-	-	-
徳島県	1	0.14	-	-	1	0.14
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.09	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第3号 平成15年1月31日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhlw.go.jp/
<厚生労働省>
http://www.forth.go.jp/
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。